

令和7年度 宮崎県立図書館要覧



宮崎県立図書館郷土資料室



宮崎県立図書館

館旗



館歌

宮崎県立図書館の歌

作詞 中村地平
黒木清次
作曲 園山民平



1. 燕交う 南の街に
楠若葉 陽光にそよぎ
ここに立つ 白亜の殿堂
ああ その窓を世界にひらく
宮崎図書館

3. 木犀の匂う夕に
歌は充つ 希望もとめて
うち集う 叡智の友の
ああ ここに汲む文化の泉
宮崎図書館

2. 双石の 山脈青く
この窓辺 真理をたずね
書とけば わが生きる日の
ああ 新なる生命はわけり
宮崎図書館

4. 赤江灘 潮騒遠く
もの思う 華は萌えたち
この世紀 平和の国を
ああ 打ちたてん願いは強し
宮崎図書館

<目 次>

.....	【第1部】	
1	運営方針	2
2	令和7年度の主な取組	4
3	組織	7
4	当初予算	8
5	令和7年度事業計画	9
.....	【第2部】	
1	資料概要	12
(1)	配架別・分類別資料数	12
(2)	資料購入の推移	12
(3)	貴重資料	12
(4)	資料整備状況	14
①	資料受入	14
②	資料受入区分別・分類別資料数	14
(5)	保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	14
(6)	貴重書デジタルアーカイブ	14
2	事業実績	15
(1)	利用事業（団体等貸出を含む）	15
①	年度別貸出利用状況の推移	15
②	貸出利用地区別内訳	16
(2)	館内利用事業	17
①	入館者及び貸出利用等	17
ア	年度別入館者数及び登録者数の推移	17
イ	室別延入室者数及び貸出冊数の推移	17
ウ	年代別入館者数、登録者数、貸出冊数	18
エ	分類別図書貸出冊数	18
オ	相互貸借件数	18
カ	A Vコーナー資料の利用状況の推移	18
キ	読書振興室利用状況（読書団体の利用数）	19
②	その他サービス等	19
ア	調査相談（レファレンス）	19
イ	YA（ヤングアダルト）サービス	19
ウ	児童サービス	19
エ	ビジネス支援サービス	20
オ	健康情報サービス	21
カ	読書バリアフリー	21
キ	障がい者等サービス	21
ク	パソコン・データベースコーナーの利用状況	22
ケ	複写サービス利用状況の推移	22
コ	各種相談事業	22
(3)	館外利用事業	23
①	やまびこ文庫	23
ア	定期配送による支援	23
イ	市町村・団体支援用専門資料での貸出による支援	24
②	セット文庫	25
③	子育て支援図書セット貸出	25
④	団体文庫	25

(4) 図書館ネットワーク事業	26
① 公共図書館・室	26
② 県立学校	26
③ 大学等	27
(5) 訪問支援	27
① 定期訪問	27
② 要請訪問	28
(6) アドバイザー派遣	28
(7) 視聴覚事業	28
① 視聴覚資料等貸出利用状況	28
② 視聴覚行事	29
(8) ひなた電子図書館	30
① 電子書籍サービス(電子図書館サービス拡充事業)	30
② 貴重書デジタルアーカイブ	30
③ デジタル宮崎県史(『宮崎県史』デジタルアーカイブ)	30
(9) 閲覧室内展示	31
① 特設展示コーナー	31
② 産廃基金コーナー	31
③ 企画展示コーナー	31
④ 博物館との連携展示	31
(10) 関係機関と連動した情報発信事業	32
① 県立図書館ギャラリー展(県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業)	32
② 県内公共図書館・室における巡回展	33
(11) 文化活動事業	35
① 第 66 回「こどもの読書週間」関連行事	35
② 第 78 回「秋の読書週間」関連行事	35
③ 特別展等	36
④ 郷土史料等学習活動	37
(12) 郷土資料調査研究事業	38
① 『宮崎県史料』	38
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	39
③ 貴重書デジタルアーカイブ	39
④ デジタル宮崎県史	39
(13) 広報活動等	39
① 「緑陰通信」発行事業	39
② ホームページ等活用事業	39
③ 体験学習・施設見学	40
(14) 「かば先生文庫」	41
(15) 講演会等の主催・共催	41
① ひなた電子図書館(通称：ひなデジ)オープニングセレモニー	41
② 「第 12 回高校生ビジネスプラン・グランプリ ビジネスプラン作成講座」	42
③ 「みやざき自然塾コロキウム」	42
④ 第 9 回宮崎県高等学校ビブリオバトル大会	43
⑤ 令和 6 年度「いいお産の日 in 宮崎」	43
⑥ 第 13 回「宮崎の自然」合同研究発表会	44
⑦ 「読書県みやざき」×「宮崎だいすきポケモン」ナッシーを活用した 読書振興の取組	44
(16) 置県 140 年宮崎県史等デジタル化及び活用推進事業	45
① 宮崎県史デジタル化事業	45

② Webコンテンツ作成事業（「ウィキペディアタウン in 延岡市」実施事業）	45
(17) 大学及び大学図書館との連携	45
(18) 研修	46
(19) 図書館サポーター	48
3 各種協議会等	49
(1) 県立図書館協議会	49
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	49
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	51
.....【参考資料】.....	
1 沿革	54
(1) 県立図書館の歩み	54
(2) 歴代館長一覧	57
2 県立図書館条例・規則等	58
(1) 県立図書館条例	58
(2) 県立図書館管理規則	58
(3) 県立図書館協議会運営規則	63
(4) 宮崎県立図書館資料収集方針	64
(5) ひなた電子図書館サービスにおける電子書籍選書方針	66
(6) 宮崎県立図書館「みどりに関する資料」特別収集要領	67
(7) 資料の除籍に関する要項	68
3 施設概況	69
4 令和6年度施設の維持管理	70
5 利用案内	71
6 市町村立図書館一覧	72

【 第 1 部 】

○ アクションプラン

県立図書館では、今後も宮崎県立図書館の理念及びビジョンのもと、3つの行動指針及び施策展開の方向性に沿って、アクションプラン(令和5年度から令和7年度までの3年間)に掲げた取組を実施してまいります。

行動指針 及び 施策展開の方向性

指針1 図書館の図書館(全県ネットワーク)

- (1) 市町村立図書館(室)等の支援・協力
- (2) 学校図書館の支援
- (3) 大学図書館への利用促進
- (4) 図書館活動・ネットワークを支える施設・システムの維持管理
- (5) 図書館の図書館としての情報発信

指針2 みやざきの資料(地域資料)の拠点

- (1) 地域資料の収集・保存・発信の全県的な促進
- (2) 地域情報のデジタル化・データベース化

指針3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

- (1) レファレンスサービスの充実
- (2) 専門的な資料・情報の収集・整理・保存・提供
- (3) 生涯読書活動の推進
- (4) 他の専門機関との連携
- (5) 情報アクセス環境の整備
- (6) 政策立案の支援
- (7) 地域の実情に応じた課題解決型サービス
- (8) 専門的なサービスを支える人材の育成・確保
- (9) 新たな動向の把握及び事業の改善

《令和7年度の重点取組事項》

- 事項1 デジタル化の推進と「ひなた電子図書館」の活用促進
- 事項2 障がい者サービスの充実による利用支援
- 事項3 市町村立図書館(室)・学校図書館に対する支援
- 事項4 専門的資料及び地域資料の収集・整理・活用
- 事項5 県内公共図書館(室)職員の専門的知識・スキルの向上

2 令和7年度の主な取組

(1) 図書館の図書館(全県ネットワーク)

重点 取組

① 「ひなた電子図書館」の充実と活用促進

重点取組事項 1

地域資料のデジタル化及びデジタルアーカイブ等の情報発信・提供について充実を図り、魅力や利便性を広く周知するとともに、電子書籍サービスの活用を促進する。

重点 取組

② 訪問等による市町村支援

重点取組事項 3

各市町村立図書館(室)の課題やニーズ等に関する情報共有を図るとともに、「市町村支援チーム」を館内で連携して編成した上で、定期的又は要請に応じて訪問し、図書館(室)運営や読書振興、図書館サービスのあり方等について助言や支援を行う。

重点 取組

③ 学校図書館への支援

重点取組事項 3

学校司書等との関係を密にしてマイラインサービスのさらなる活用や地域の公共図書館(室)との連携促進などを進め、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動の推進につなげる。

重点 取組

④ 研修による市町村のスキルアップ

重点取組事項 5

県立図書館や公共図書館連絡協議会の事業による専門的な研修をはじめ、市町村の要請や図書館を取り巻く新たな動きを捉えた個別研修等を行って、県内市町村立図書館(室)職員の資質向上を図る。

重点 取組

⑤ 「セット文庫」活用による町村支援

重点取組事項 3

町村立図書館(室)及び学校に対しては「セット文庫」などを活用し、地域の読書活動や調べ学習を支援するための豊富な資料を貸し出すことで、読書環境の充実を支援する。
※セット文庫…テーマ別にセット組にした資料。町村立図書館(室)や対象の学校に対し、必要に応じて貸し出す。

⑥ マイラインサービス等物流の活用による利用促進

大学図書館や県立学校、私立学校などとのマイライン接続を拡充するほか、マイラインサービスのさらなる周知や、迅速で効率的な物流の維持管理に努め、利用促進を図る。

※マイラインサービス…県立図書館の図書を最寄りの市町村立図書館(室)で借りることができるサービス「県立図書館の本お取り寄せサービス」のこと。マイラインは「Miyazaki Prefectural Library Advanced Information Network System」の略称。

⑦ 収蔵スペースの確保に向けた検討

除籍方針や配架方法の見直し、所蔵資料のデジタル化などを進めるとともに、収蔵スペースの確保に向けた検証作業や早期の計画策定を図る。

⑧ 危機管理対策

利用者の安全・安心な利用はもとより、非常時の職員の安全確保等、様々な危機事象を想定した館内施設の点検や整備、必要な防災訓練等を実施する。

⑨ 図書館システムの計画的な更新

令和3年2月の導入から5年となる図書館システムについて、利便性の向上やセキュリティ強化、非来館型サービスへの機能対応など今後必要とする仕様を設計し、計画的に更新する。

(2) みやぎの資料(地域資料)の拠点

重点 取組

① 地域に関する資料のデジタル化

重点取組事項 1

所蔵資料のデジタル化に関して定めた基本方針をもとに、希少性や劣化による緊急性、利用ニーズ等を考慮して地域資料のデジタル化を進める。

また、貴重資料の整理状況を確認し、データベース化するとともに、デジタル化した資料を公開する。

重点 取組

② 地域資料の収集・整理・保存・活用

重点取組事項 4

県の機関や市町村に対して地域資料の提供を呼びかけ、積極的な把握と収集に努め、地域資料の充実を図るとともに、ポーンデジタルなどの地域資料の収集について検討する。

また、地域資料の発掘・調査や歴史的事象の紹介・検証に重要な役割を果たしている県内各地の史談会等の活動を支援しながら、地域資料の掘り起こしや保存に取り組む。

※ポーンデジタル…冊子ではなく電子媒体で提供することを前提として作成当初からデジタル形式で記録された情報コンテンツ。

重点 取組

③ 地域資料のメンテナンス整備

重点取組事項 4

劣化が懸念される地域資料の状態を確認し、必要な補修やデジタル化等の対策を講じて継続的に活用又は利用者に提供できるような手立てを整備する。

④ 本県文化の魅力に関わる地域情報の発信

小林邦雄コレクションを基にした若山牧水に関する展示や、中村地平など本県の偉人や文化振興と関わりの深い人物等についての県内各種研究・学術団体等と連携した文化講座などを通じて、本県の歴史・文化をはじめとする幅の広い地域情報の発信を行う。

※小林邦雄コレクション…故・小林邦雄氏(医師)が生前に収集した牧水の遺墨(直筆の掛け軸、色紙、短冊等)や関係資料291点をご遺族が当館に寄贈されたもの。

※中村地平…本県出身の作家で、芥川賞候補に3回選ばれる。昭和22年から約10年間にわたり当館の第23代館長を務めた。

⑤ 受入資料の整理と調査・分析

杉田文庫関係資料や高鍋町図書館から受け入れた資料等を整理し、それぞれの歴史的意義を調査・分析する。

※杉田文庫…宮崎市の杉田正臣氏により寄贈された、江戸初期から昭和期に至る約1万2千点もの俳諧・歴史書・医学書などからなる資料で、昭和60年に創設。

(3) 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

重点 取組

① 障がい者サービスの充実による利用支援

重点取組事項 2・5

電子書籍を含め、アクセシブルな書籍や端末機器等についての情報を提供し、読書が困難な利用者を積極的にサポートするほか、来館が困難な利用者に対しては、郵送サービスの実施など誰もが利用しやすい図書館を目指したきめ細かな利用支援に努める。

また、県内図書館(室)職員向けの研修を実施し、読書バリアフリー法に係る読書活動を推進する職員等の資質向上を図る。

※読書バリアフリー法…全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられることを目的に令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」。

② 県立図書館ならではの資料収集

市町村立図書館(室)では収集が難しい専門書・参考図書等を中心に、全分野の資料を網羅的に収集するとともに、図書館サービスの地域間格差の改善も考慮した資料の収集に努め、県全体での効果的な資料の充実を図る。

③ レファレンスサービスの充実

専門機関との連携や担当職員の能力向上に努めるとともに、県立図書館の有する資源(専門知識、資料、データベース等のデジタル情報、施設設備)を活かしたレファレンスサービスを適切に提供するほか、県行政機関へのサービス周知を図り、政策立案の支援につなげる。

④ 県民参加型の生涯読書活動の推進

地域や他の専門機関と連携して所蔵資料等を活用した県民参加型のモデル的取組(例:ウィキペディアタウン)を進め、市町村にも普及させることを通じて読書に対する喜びや新たな学び、研究活動のきっかけを県民に提供する。

※ウィキペディアタウン…地域の文化財などを調査し、インターネット百科事典「ウィキペディア」の記事を作成・編集するイベント。

⑤ 専門研修の受講による人材の育成・確保

県内外の専門研修等に計画的に受講派遣、又はオンラインによる受講を促し、職員の研鑽に取り組むとともに、館内業務の見直し、改善等にもフィードバックして全体の資質向上を図る。

⑥ 書誌データ等の充実・改善

蔵書検索システムで利用される書誌データのさらなる充実とデータ検索機能の改善を図り、利用者が求める資料をより簡便に見つけやすくするよう整備する。

※書誌データ…図書等のタイトルや編著者、出版社、出版年、大きさ、ページ数などを記述したもの。目次データや人物等の情報を加えることで検索しやすくなることができる。

⑦ 地域課題解決に関する市町村立図書館(室)の意識の醸成

地域に寄り添った課題解決型サービスの充実に取り組むとともに、市町村立図書館(室)に対しそれぞれの地域に応じた必要な情報を提供し、図書館(室)として地域課題の解決に取り組む意識の醸成を図る。

⑧ 図書館サポーターの設置

図書館サポーターの設置を通じて、県民の図書館への理解を深め、図書館活動のより一層の活性化と図書館振興を図るとともに、県民に質の高い生涯学習の場を提供する。

3 組 織（令和7年度）

(1) 職員の現員調

単位（人）

区 分	館 長	副館長	課 長	主 幹	専門主幹	副主幹	主 査	専門主事	主任主事	主 事	社会教育主事
現員28	1	1	2	4	1	1	6	4	4	2	2

(2) 組織及び分掌事務

単位（人）

名誉館長 伊藤 一彦 館 長 田代 暢明 副館長 津田 秀信	総務・企画課 17	総務担当 6	・予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入 ・庁舎管理(施設・設備営繕、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理、書庫増設計画
		企画担当 3	・施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会 ・図書館広報及び各種情報発信、図書館情報システム等の運営管理 ・職員研修、図書館実習・職場体験学習等
		資料管理担当 7	・資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本) ・購入資料・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入
	情報提供課 37	普及支援担当 7	・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・県公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・やまびこ文庫、BM書庫管理・活用、マイラインサービスの運営・普及
		郷土情報担当 5	・地域資料、貴重資料の収集・保存・整理・活用 ・県地方史講座(文化講座・古文書講座) ・宮崎県地方史研究連絡協議会
		情報提供担当 24	・児童図書室・閲覧室・書庫の運営管理 ・レファレンスサービス、相互貸借 ・高齢者・障がい者サービス

4 令和7年度当初予算

(歳入)

科 目	予 算 額 (千円)	説 明
財産収入	1,387	
財産運用収入	1,387	
財産貸付収入	1,387	
公募型財産貸付料	1,387	県立図書館自動販売機設置貸付料
繰 入 金	83,042	
基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金	1,254	リサイクル活動資料整備
県有施設維持整備基金繰入金	52,206	
県有施設維持整備基金	52,206	県立図書館老朽化対策事業・基本運営費
宮崎再生基金繰入金	29,582	
宮崎再生基金	29,582	電子図書館サービス拡充事業
諸 収 入	829	
雑 入	829	
雑 入	829	
雑 入	829	電子複写及び電気・水道使用料
合 計	85,258	

(歳出)

事 業 名	予算額(千円)
図書館費	255,566
管理運営費（庁舎の維持管理に要する経費）	91,474
図書館協議会（図書館協議会の運営に要する経費）	228
県立図書館老朽化対策事業（中央監視盤更新工事）	163,864
図書館サービス推進費	188,641
県民の読書を支える図書館づくり事業 （図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費等）	42,033
図書館サービス費 （資料の提供、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費等） インターネット通信事業（インターネット通信に要する経費） みどりの図書館づくり推進事業 （自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費）	116,472
A V活動推進費（A V機器の管理、緑陰コンサート等に要する経費）	46
図書館ネットワーク推進事業 （市町村図書館支援のための派遣旅費、レファレンス研修に要する経費）	508
電子図書館サービス拡充事業 （電子書籍の導入による利用者へのサービス拡充及び映像・郷土資料のデジタル化に要する経費）	29,582
郷土資料調査研究事業推進費	9,596
史料刊行費（史料・研究紀要の刊行に要する経費）	4,234
郷土資料調査・研究員報酬等 （郷土資料の調査・研究に係る会計年度任用職員人件費等）	5,362
合 計	453,803

5 令和7年度事業計画

読む…………貸出サービス等

●個人貸出

1人10冊まで 児童図書室は5冊まで	14日以内
-----------------------	-------

障がい者の方への「無料宅配サービス」、一般の方への「有料宅配サービス」も行っていきます。

●図書館ネットワーク

宮崎県内図書館横断検索 インターネットで、読みたい本を県内のシステム参加図書館の蔵書から検索できます。
県立図書館の本お取り寄せサービス（マイラインサービス） インターネットで県立図書館の蔵書を検索し、居住している市町村立図書館（室）を通じて借りることができます。
相互貸借 国立国会図書館の総合目録システム等から県立図書館に所蔵のない本を借りることができます。

●団体貸出

やまびこ文庫 市町村の図書館（室）やへき地の学校、特別支援学校等を対象とした書庫の資料貸出・配本
団体文庫 読み聞かせボランティア団体等を対象にした貸出

見る・聴く……………映画会・コンサート・おはなし会等

●視聴覚事業

図書館シアター 名作や人の生き方を考える映画を鑑賞する上映会	7/26(土)・8/20(水) 10/15(水)・12/10(水)
子ども映画会 子ども達の夢を育て、情操教育を支援する映画会	5/24(土)
緑陰コンサート 生演奏やレコード音楽を楽しむコンサート	6/22(日) 11/1(土)
メモリアル宮崎 ～郷土を知ろう～ 16ミリフィルムに記録されている昭和の宮崎県の出来事等を鑑賞する上映会	9/24(水) 1/28(水)

●読書活動関連事業

おはなし会 子どもたちを対象とした絵本等の読み聞かせ	火曜日(14:00～14:30) 水曜日(15:00～15:30) 土曜日(15:00～16:00) ただし、祝日は開催しません。
-------------------------------	--

学ぶ……………講座・特別展示等

●講演会(13:30～15:30)

若山牧水生誕140年記念講演 「牧水の歌を読みなおす」 講演者：伊藤一彦氏(当館名誉館長)、吉川宏志氏(歌人)	7/6(日)
---	--------

●宮崎県文化講座（いずれも13:30～15:30）

「平部嶠南が遺した歴史資料」 講演者：長友禎治氏(日南市役所 文化財専門担当官)	9/20(土)
「宮崎の野生動物-ヒトと動物の関係から考える-」 講演者：岩切康二氏(宮崎野生動物研究会)	10/25(土)
「シン・若山牧水」～牧水の新たな魅力～ 講演者：伊藤一彦氏(当館名誉館長)	11/22(土)

●古文書講座（いずれも13:30～15:00）

本館所蔵の県内関係の古文書を教材にして古文書の読み方を学びます	6/7(土)・7/5(土) 8/2(土)・9/6(土)
---------------------------------	--------------------------------

●特別展示

1	平部嶠南生誕210年記念 特別展「平部嶠南と日向地誌」	9/20(土) ～10/19(日)
2	牧水生誕140年記念 特別展「若山牧水」～歌人・牧水、の誕生～	11/8(土) ～12/7(日)
3	共催展「遺跡発掘成果展 『東九州自動車道118遺跡 新富～高鍋編』	1/28(水) ～2/15(日)

相談する……………レファレンスサービス・相談会等

●レファレンスサービス

質問や相談を受けて、図書館職員が参考となる本の紹介や情報提供を行うサービス（閲覧室4番カウンター及び電話・FAX・メール等で受付）

●各種無料相談会

健康相談会(まちの保健室) 宮崎県看護協会による心身の健康に関する無料相談会	毎週土曜日 (第5以外)
サポステ図書館出張 地域若者サポートステーションによる就職に関する無料相談会	毎月第4水曜日
法律相談会 宮崎県司法書士会による法律に関する無料相談会	毎月第2金曜日 ※8月は実施なし
不動産相談会 宮崎県不動産相談会による不動産に関する相談会	4/19(土)・10月 実施予定

楽しむ……………その他イベント・展示等

●自主企画展示

こどもの読書週間企画展 「あったらいいな！こんなまち ～みらいをつくるこどもの本～」 期間中、絵本や児童書の展示のほか、特別おはなし会やワークショップなどを行います。	4/22(火)～5/11(日)
秋の読書週間企画展 「昭和100年・読書の100年」 秋の読書週間に関連する企画展示を行います。	10/21(水)～11/9(日)
当館自主企画展 「視聴覚コレクション展」	1/20(水)～2/1(日)
当館自主企画展 「ひなた電子図書館」	3/3(火)～3/8(日)

●ギャラリー展（令和7年度計画） 県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業 ※主催◎ 共催○

1	4/9（水）	～	4/20（日）	・ふるさとの水辺発表会 ・みやざき食品ロス削減パネル展
2	4/22（火）	～	5/11（日）	◎こどもの読書週間企画展 「あったらいいな！こんなまち～未来をつくるこどもの本～」
3	5/14（木）	～	5/25（日）	・自転車マナーアップ強化月間企画展 ・消費生活啓発パネル展～こんなのアリ！？と思ったら・・・あきらめないでまず相談！～
4	5/28（水）	～	6/8（日）	・河川愛護ポスター展&安全な水辺活動の推進 ～川や海での活動をより安全に楽しいものとするために～ ・令和7年度「土砂災害防止月間」パネル展～備えよう！助かる命を守るため～
5	6/11（水）	～	6/22（日）	・思春期こころの健康 ・みどりの特別企画展～6月は環境月間です！～
6	7/1（火）	～	7/6（日）	・NHK 大河ドラマ「べらぼう～篤重栄華乃夢噺～」全国巡回展
7	7/9（水）	～	7/21（月・祝）	・森林・林業にふれてみませんか！～宮崎県林業技術センターはこんなところ～ ・企業局のゼロカーボン社会づくりの取り組み～スゴイぞ！水のチカラ～
8	7/24（木）	～	8/3（日）	・ご存じですが、高次脳機能障がい～頭のケガや病気の後から起こる後遺症～ ・高千穂郷・椎葉山地域世界農業遺産認定10周年記念展示
9	8/6（水）	～	8/17（日）	戦後80年平和祈念資料展
10	8/20（水）	～	8/31（日）	農畜水産業の技術最前線～最新の研究をわかりやすくご紹介～
11	9/3（水）	～	9/15（月・祝）	・令和7年国勢調査パネル展 ・健康づくり普及啓発パネル展（仮）～知ろう、考えてみよう、健康のこと～
12	9/23（火・祝）	～	10/5（日）	○宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展
13	10/8（水）	～	10/19（日）	・中山間地域をみんなで支える県民運動 ・ご存じですが、労働委員会について～労働問題でお困りの方へ～
14	10/21（火）	～	11/9（日）	◎秋の読書週間企画展
15	11/12（水）	～	11/24（月・祝）	・宮崎地域資源ブランドの魅力発信パネル展 ・ひなたゼロカーボン2050ギャラリー展 ～未来の地球のために、今できることを考えよう～
16	11/27（水）	～	12/7（日）	・人権啓発パネル展～思いやりの心で、豊かな人間関係を～ ・シニアパワー宮崎づくり企画展～創ろう シニアパワーで 新しいみやざき～
17	12/10（水）	～	12/21（日）	・児童福祉推進キャンペーン ・犯罪被害者支援に関する企画展～被害者支援について考えよう～
18	1/7（水）	～	1/18（日）	・日本のひなた宮崎国スポ・障スポ展 ～みんなで紡ごう！かけがえのない経験を未来のわたし達へ ・私とみんなの共生社会シンポジウム 展示の部
19	1/20（火）	～	2/1（日）	◎当館自主企画展（視聴覚コレクション展）
20	2/4（水）	～	2/15（日）	・宮崎の古墳文化パネル展～世界遺産登録を目指して～ ・サイバー犯罪被害防止パネル展
21	3/3（火）	～	3/8（日）	◎当館自主企画展（ひなた電子図書館）
22	3/11（水）	～	3/22（日）	・みやざきの「ひと」～みやざきの「昔」から「今」へ ・宮崎県の職業訓練～将来の選択肢を広げよう～

【 第 2 部 】

1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

(1) 配架別・分類別資料数（令和7年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	閲覧室	児 童 図書室	書 庫	BM書庫	視聴覚 資 料	その他	合 計	割合(%)
0 総 記	8,376	926	42,550	866	385	466	53,569	6.2
1 哲 学	4,727	300	20,720	1,039	112	3	26,901	3.2
2 歴 史	13,928	1,671	58,261	2,547	908	355	77,670	9.1
3 社会科学	24,444	2,707	156,797	5,170	2,431	374	191,923	22.4
4 自然科学	13,823	3,888	46,480	5,963	1,134	24	71,312	8.4
5 技 術	12,169	1,654	44,020	4,849	772	24	63,488	7.4
6 産 業	11,100	864	40,100	1,929	557	9	54,559	6.4
7 芸 術	10,465	2,814	46,640	4,527	7,580	269	72,295	8.4
8 言 語	3,102	618	10,183	1,114	146	44	15,207	1.8
9 文 学	27,008	19,236	142,059	38,261	370	66	227,000	26.6
計	129,142	34,678	607,810	66,265	14,395	1,634	853,924	100.0

(2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額
図 書	9,501	33,834	9,465	34,779	10,318	35,091	9,101	36,549	8,437	36,689
逐次刊行物	3,460	5,629	3,544	5,792	3,553	5,881	3,506	6,304	3,525	6,201
A V 資料	37	888	22	734	25	779	20	747	21	765
計	12,998	40,351	13,031	41,305	13,896	41,751	12,627	43,600	11,983	43,655

(3) 貴重資料（令和7年3月31日現在）

No.	文書名	文 書 の 概 要
1	阿萬文書	「尚友堂日記（阿萬豊蔵日記）」、恒久村・吉村の境界争い関係図など129点の文書 ※ 阿萬豊蔵（1809－76）安井息軒に師事し、江戸の昌平黉に学ぶ。帰国して飢肥藩清武郷役人を務める。
2	島津文書	寛文9（1669）年から文久2（1862）年の間の「佐土原藩島津家日記」、「鶴城譜略」、「佐土原藩系図」など佐土原藩の藩政関係の文書141点
3	桑原文書	「佐土原藩譜」、「維新事蹟」、「御軍記」巻1～5などの43点の文書 ※ 桑原家：旧佐土原藩士
4	松尾文書	「歴代公用日記」、「桜島噴火記」、「忠将公御記」などの筆写本24点 ※ 松尾宇一（1886－1963）郷土史家
5	日高文書	「船中道中日記（児玉実行）」、地券、借用書など92点の文書 ※ 日高家：旧佐土原藩の郡方役人

6	内藤家文書	内藤家文書を石川恒太郎氏が翻刻したもの4点 ※ 石川恒太郎（1900－90）地方史研究家
7	小寺文書	飢肥藩楮紙仕立てに関する一件書類、「宮崎大島組大庄屋各村人別帳」など47点の文書 ※ 小寺鉄之助：郷土史研究家
8	新穂家文書	「新穂禎蔵書簡」、土地売渡証文など7点の文書。 ※新穂家：都城市高城町
9	辰己屋文書	藩からの酒造の申渡書・勘定書・証文や藩役人にあてた御請書など33点の文書 ※ 辰己屋：日向国那珂郡江田村（宮崎市）の酒造家
10	児玉日誌	明治20（1887）年から昭和11（1936）年までの日記史料49点 ※ 児玉伊織（1867－1936）明治32年宮崎町長、明治44年から昭和6年まで宮崎県会議員を務めた。
11	一木文書	昭和30（1955）年に写された江戸時代の関孝和系和算書25点
12	正念寺文書	寛文6年の「延岡藩中宗門改帳」や「稲津掃部合戦記写本」、「鹿児島県地誌略」など18点の文書 ※ 正念寺：延岡藩高千穂郷田原（高千穂町）
13	三ヶ所村役場文書	宝暦期の「佐藤信安日記」、享保期の「二又村春秋御銀調帳」ほか13点の文書 ※ 西臼杵郡三ヶ所村役場および桑之内村役場（両村とも五ヶ瀬町）旧蔵
14	佐土原藩島津文書	領地目録、宣旨、口宣案、安堵状など214点の文書 ※ 佐土原藩島津家の文書
15	佐土原藩島津家日記	江戸時代の佐土原藩の在所と江戸で書かれた日記571点 ※ 佐土原藩に関する日記
16	高鍋藩本藩実録	「高鍋藩本藩実録」、「続本藩実録」、「続々本藩実録」など53点の文書 ※ 大正14（1925）年に筆写された高鍋藩藩政資料の写本
17	大雄寺文書	江戸中期から明治後期までの大雄寺関連の過去帳20点 ※ 大雄寺：東臼杵郡美郷町西郷田代にある寺
18	青山文書	文久2（1862）年「日州佐土原御検地名寄帳」と万延元（1860）年「日州佐土原御検地竿扱帳写」の2点 ※ 鹿児島藩主導で行われた検地
19	嶠南文庫	「康熙字典」、「西国盛衰記」、「古簡雑纂」、「日向纂記」、「嶠南日記」など590点の文書 ※ 平部嶠南（1815－90）幕末期の飢肥藩の学者・家老
20	秋月文書	「秋月種長家譜」、「秋月家御一門之覚」、「秋月家旧記」など52点の文書 ※ 高鍋藩秋月家の文書
21	佐土原藩島津家文庫	佐土原藩島津家の藩主が使用した御手許本を含む江戸時代から明治時代にかけての和漢籍992点
22	杉田文庫	「賦何人連歌」、「朗詠詩俳諧両吟」、「松尾芭蕉肖像」、「夏目漱石俳句短冊」など約6,000点 ※ 杉田直氏、正臣氏2代にわたって収集された俳諧関係資料
23	古典籍類 ※島津家文庫を除く	「大日本史」、「成形図説」、「春秋左氏伝」、「資治通鑑」など約5,000点 ※ 公的機関・大名・個人から収集した古典籍

これらの蔵書の中には置県100年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸時代後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約12,000点も含まれている。

また、貴重書庫には「佐土原藩島津家日記」や「嶠南文庫」などの古文書約2,000点も保存している。

日高文書から「日向国臼杵郡椎葉山絵図」の一部



(4) 資料整備状況

① 資料受入（令和7年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	令和6年度受入資料数	総 資 料 数
図 書（A）	11,133	721,115
逐次刊行物（B）	4,872 新聞46種・雑誌438種	62,030
A V 資 料（C）	70	3,499
合計（A+B+C）	16,075	786,644

② 資料受入区分別・分類別資料数（令和7年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総 記	1,138	206			37	33	2			1,416
1 哲 学	385	29					3			417
2 歴 史	1,024	282	1			8	11			1,326
3 社会科学	3,428	1,433	1		18	30	12		5	4,927
4 自然科学	1,670	261	1				9			1,941
5 技 術	1,455	276	6			8	5			1,750
6 産 業	909	397	5		1		2			1,314
7 芸 術	1,590	257					5		12	1,864
8 言 語	462	21	3				1			487
9 文 学	3,447	660	1				52			4,160
計	15,508	3,822	18		56	79	102		17	19,602

(5) 保存資料(マイクロフィルム)の所蔵状況（令和7年3月31日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	221
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	1,091
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	3,755

(6) 貴重書デジタルアーカイブ

当館に収蔵されている佐土原藩島津家文書、嶋南文庫などの貴重資料について、デジタル化を進めて、順次デジタルアーカイブで公開している。令和6年度は59点、7,355コマを公開した。（令和7年3月31日現在）

電子化終了 点 数	公開して いる点数	令和6年度 アクセス数
4,404点 約20万コマ	1,296点 約7万コマ	3,885件

宮崎県立図書館
貴重書デジタルアーカイブ

石山牧水 短歌色紙

■ 掛け合わせ検索

史料(資料)の種類 ☒ 思想・信仰 ☒ 歴史 ☒ 社会科学
☒ 自然科学 ☒ 工学・産業 ☒ 芸術 ☒ 語学・文学

地域 ☒ なし ☐ 宮崎・南部町・東諸県 ☐ 西諸県・北諸県
☐ 東臼杵・西臼杵 ☐ 国内 ☐ 国外

時代 ☒ なし ☐ 元禄以前 ☐ 元禄以後(幕藩置国(明治4年)前)
☐ 幕藩置国(明治4年)以後(昭和20(1945)年まで) ☐ 昭和21年以降

検索 表示件数 10 件



2 事業実績

(1) 利用事業（団体等貸出を含む）

① 年度別貸出利用状況の推移

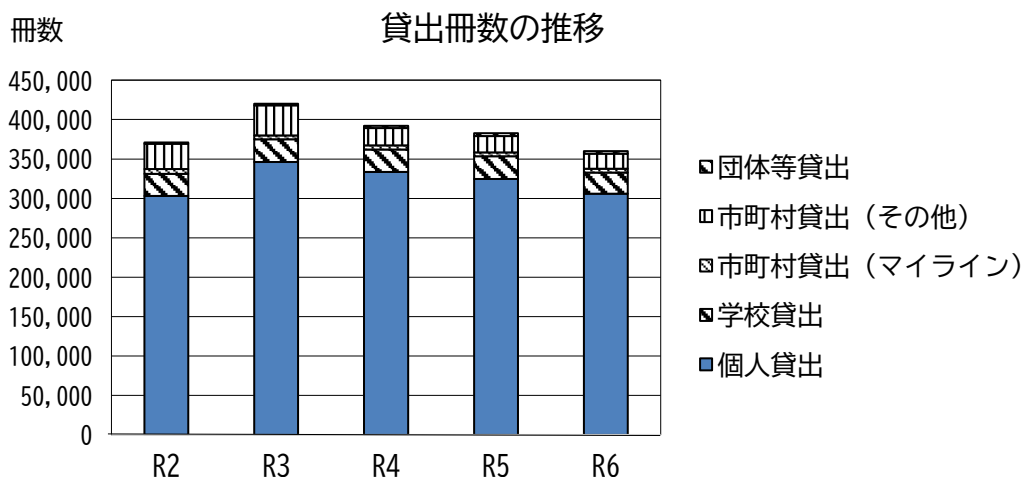
単位（冊）

区 分 \ 年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出冊数 (冊)	個人貸出 (1開館日当たり)	303,006 (1,094)	346,176 (1,170)	333,479 (1,119)	324,815 (1,105)	305,916 (1,073)
	A マイライン	6,112	5,084	5,196	5,059	5,175
	B 子育て支援図書セット	1,110	1,170	1,080	900	930
	やまびこ 文庫	C 町村支援	9,820	10,950	11,160	10,890
		D 学校支援	27,970	28,710	28,610	26,715
		E 大量貸出支援	12,879	14,608	2,387	1,069
		F 児童教育施設等支援	4,034	3,577	4,432	5,704
	G セット文庫	4,369	2,650	2,201	1,879	1,650
	H 団体貸出	1,630	2,082	2,906	3,511	2,963
	I 視聴覚資料団体貸出	29	21	23	28	18
	合 計	370,959	415,028	392,004	382,760	359,819

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度は令和2年4月21日から5月10日までの通常休館を除く18日間が臨時休館となった。

* A～Iの事業について

- A …県立図書館の資料を居住している市町村立図書館・室を通して予約・借受できるシステム
- B …町村の図書館・室を対象に育児書や幼児用絵本のセットを貸し出す事業（4か月間、1セット30冊、年3回）
- C …町村の図書館・室を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（4か月間、500冊まで、年3回）
- D …町村立小・中学校（へき地指定校のうち1級地以上）及び県立特別支援学校等を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（4か月間、500冊まで、年3回）
- E …市町村図書館・室を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（1年間、1,000冊まで）
- F …県内の児童教育施設等を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（2か月間、100冊まで）
- G …町村立図書館・室及び町村立学校・県立特別支援学校を対象に、セット組みした市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業
- H …県内の読書団体を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（2か月間、100冊まで）
- I …県内の社会教育団体等を対象に視聴覚資料を貸し出す事業（10日間、5本まで）



② 貸出利用地区別内訳（令和6年度）

単位(冊)

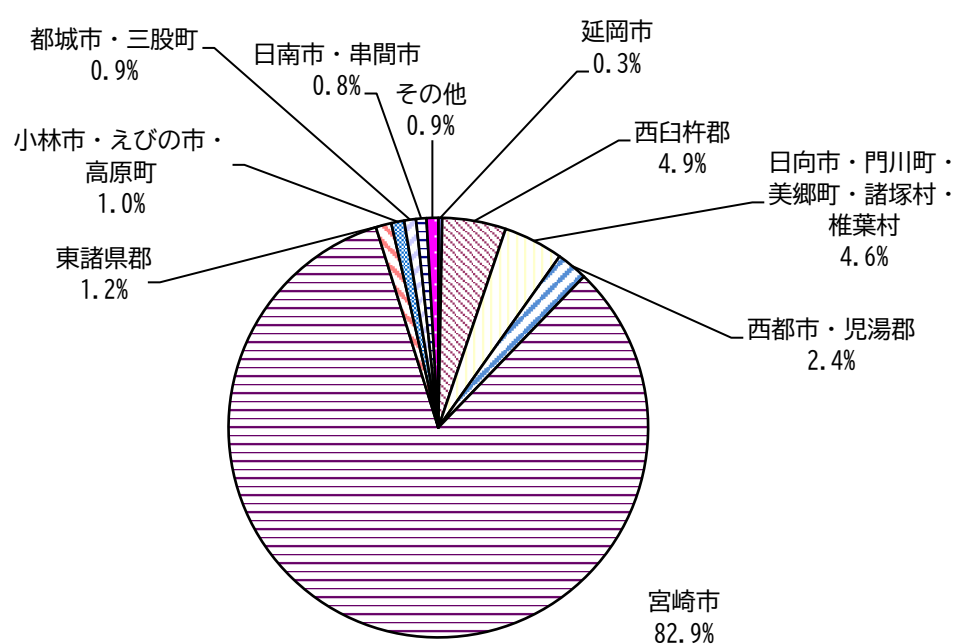
区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	802(0.3)	302(5.8)	—	—	—	1,104(0.3)
西 臼 杵 郡	139(0.1)	685(13.2)	16,035(37.1)	402(24.4)	270(6.9)	17,531(4.9)
日向市・門川町・ 美郷町・諸塚村・ 椎葉村	924(0.3)	799(15.4)	13,420(31.1)	993(60.2)	360(9.2)	16,496(4.6)
西都市・児湯郡	6,011(2.0)	884(17.1)	1,692(3.9)	29(1.8)	180(4.6)	8,796(2.4)
宮 崎 市	286,810(93.8)	541(10.5)	7,790(18.0)	—	2,963(76.1)	298,104(82.9)
東 諸 県 郡	4,151(1.4)	304(5.9)	—	—	30(0.8)	4,485(1.2)
小林市・えびの市・ 高原町	1,256(0.4)	280(5.4)	2,100(4.9)	—	90(2.4)	3,726(1.0)
都城市・三股町	2,108(0.7)	623(12.0)	630(1.4)	—	—	3,361(0.9)
日南市・串間市	684(0.2)	745(14.4)	1,500(3.6)	—	—	2,929(0.8)
そ の 他	3,031(1.0)	12(0.2)	—	226(13.7)	—	3,269(0.9)
合 計	305,916 (100.0)	5,175 (100.0)	43,167 (100.0)	1,650 (100.0)	3,893 (100.0)	359,801 (100.0)

※ () 内はパーセンテージ

※ 団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※ 視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率（令和6年度）



(2) 館内利用事業

① 入館者及び貸出利用等

ア 年度別入館者数及び登録者数の推移

年 度 区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数(日)	277	296	298	294	285
入館者数(人)	307,705	289,561	187,141※	352,033	373,604
(1開館日あたり)	(1,111)	(978)	-	(1,197)	(1,311)
登録者数(人)	5,509	6,015	5,868	5,823	6,316
累計登録者数(人)	291,681	297,696	303,564	309,387	315,703
(1開館日あたり)	(20)	(20)	(20)	(20)	(22)

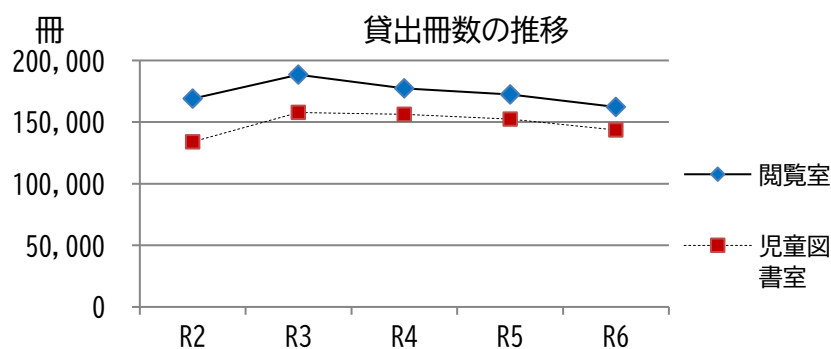
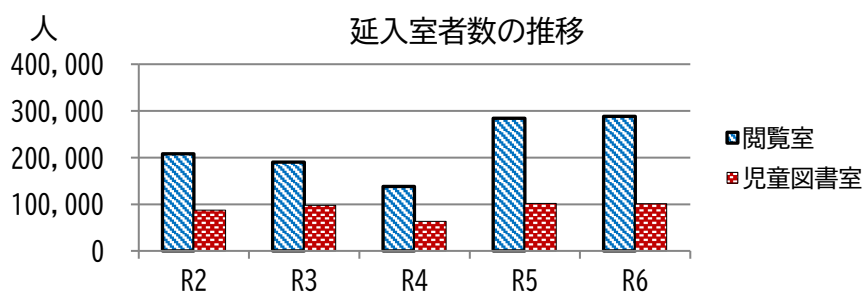
※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度(9月から1月)の入館者数はカウントされていない。

イ 室別延入室者数及び貸出冊数の推移

単位(人・冊)

年 度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数
閲覧室	208,180	168,980	190,251	188,413	138,023	177,306	284,146	172,387	288,088	162,239
児童図書室	87,359	134,026	97,959	157,763	63,317	156,173	101,575	152,428	100,899	143,677
計	295,539	303,006	288,210	346,176	201,340	333,479	385,721	324,815	388,987	305,916
1 平 日 均	1,067	1,094	974	1,170	-	1,119	1,312	1,105	1,365	1,073

※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度(9月から1月)の延入室者数はカウントされていない。



ウ 年代別入館者数、登録者数、貸出冊数（令和 6.4.1～令和 7.3.31 開館日数 285 日）

単位（人・冊）

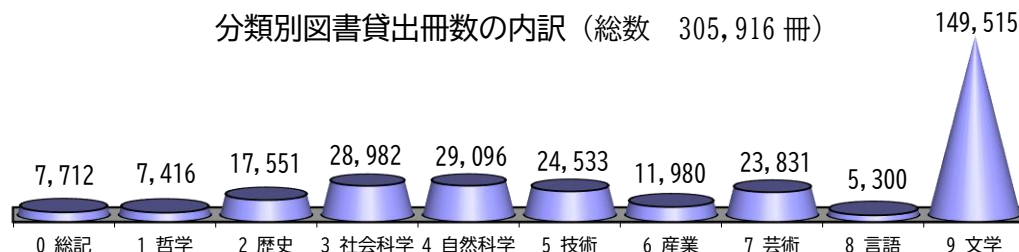
区 分		入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0 歳～ 6 歳		649	41,664		2.3	146
	7 歳～12 歳		620	43,487		2.2	153
	13 歳～15 歳		167	3,165		0.6	11
	16 歳～18 歳		149	1,300		0.5	5
	19 歳～22 歳		231	4,417		0.8	15
	23 歳～		4,500	211,883		15.8	743
計		373,604	6,316	305,916	1,311	22.2	1,073
累 計 （昭和 63 年度以降）		19,171,392	315,703	14,037,717			

エ 分類別図書貸出冊数（令和 6.4.1～令和 7.3.31 開館日数 285 日）

単位（冊）

分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均
0 総 記	6,171	1,541	7,712	27	6 産 業	9,143	2,837	11,980	42
1 哲 学	6,306	1,110	7,416	26	7 芸 術	14,403	9,428	23,831	84
2 歴 史	12,896	4,655	17,551	62	8 言 語	3,489	1,811	5,300	19
3 社会科学	23,329	5,653	28,982	102	9 文 学	52,550	96,965	149,515	525
4 自然科学	15,783	13,313	29,096	102					
5 技 術	18,169	6,364	24,533	86	合 計	162,239	143,677	305,916	1,073

分類別図書貸出冊数の内訳（総数 305,916 冊）



オ 相互貸借件数（令和 6.4.1～令和 7.3.31 開館日数 285 日）

単位（件）

区 分	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
年 度				
令和 6 年度	0	365	158	523

カ AVコーナー資料の利用状況の推移

〈ビデオソフト〉

単位（本）

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
区 分					
利用本数	1,627	922	1,341	2,288	1,650
1 日平均	6	5	5	7	6

キ 読書振興室利用状況（読書団体の利用数）（令和6年度）

単位（件・人）

利用件数	23	利用人数	235
------	----	------	-----

② その他サービス等

ア 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受け、蔵書資料の紹介や情報の提供により調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（令和6年度）

単位（件）

区 分	対 面	電 話	F A X	Eメール	文書等	計
件 数	4,737	1,319	523	175	7	6,761

〈相談事例〉

- ・ 宮崎県で洋食を普及していく様子（洋食屋の様子など）を知りたい。
- ・ 宮崎県で20度の焼酎を造るようになった歴史的背景が書かれている文献が知りたい。
- ・ 飢肥（おび）藩初代藩主伊東祐兵（すけたけ）室松寿院（しょうじゅいん）についての和歌や書簡などについて知りたい。
- ・ 機関紙「凡人」、「光輪」の所在、両紙に言及した文献について知りたい。

イ YA(ヤングアダルト)サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18 歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成 17 年度から青少年コーナーを設置している。平成 20 年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約 5,700 冊）



青少年コーナー

ウ 児童サービス

○ 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、図書館職員やボランティア団体による絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

〈読み聞かせ利用者数〉（令和6年度）

単位(人)

曜 日	実施回数	内 訳		計	1 回当たり
		こども	大人		
火曜日	38	197	208	405	10.7
水曜日	46	292	214	506	11.0
土曜日	92	750	588	1,338	14.5
計	176	1,239	1,010	2,249	12.8



読み聞かせの様子

○ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約 350 冊）

エ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナーを設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌、資格取得関連図書等を配架している。

また、経営支援、創業支援等の分野に係る連携の円滑化、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的として宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で覚書（平成 22 年 4 月 1 日）を締結している。令和 2 年度は、宮崎県立図書館を会場として四者によるセミナー等を実施したが、令和 3 年度以降は新型コロナ感染拡大のため実施しておらず、現在も再開していない。

令和 6 年 7 月から、若者の就労支援機関である地域若者サポートステーション（以下「サポステ」）の出前出張を県立図書館のロビーで行っている。サポステの出前出張を県立図書館で行うことで、県民の皆様が就労支援機関を周知し、気軽に利用していただくとともに、就職に役立つ図書館資料の提供を通して、宮崎で暮らし、宮崎で働く機運を県立図書館から発信することを目的としている。この「ビジネス支援におけるサポステ図書館出張」は、毎月第 4 水曜日に実施している。サポステの相談ブースの隣に「ビジネス支援ミニコーナー」を設置し、職員がビジネスや就職に役立つ図書館資料を提供している。



ビジネス関連雑誌コーナー



資格取得関連資料・ビジネス関連情報誌

オ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ情報の提供を行うため、2階ロビーに健康情報コーナーを設置し、健康に関するパンフレット・チラシの配架を行っている。また、宮崎大学医学部がん相談支援センターと連携し、平成29年10月から、がん対策に関するパネルの展示やがんの冊子の配架を行っている。

毎週土曜日（第5土曜日を除く）には、宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

さらに、令和元年度から、心身における健康保持・増進を目指して「声に出して言葉を楽しもう会」を実施している。

○ 「声に出して言葉を楽しもう会」の実績

令和6年6月12日（水）	参加者13人
令和6年9月12日（木）	参加者16人
令和6年12月4日（水）	参加者15人
令和7年2月21日（金）	参加者12人



健康情報サービスコーナー

カ 読書バリアフリー

多様な手段で読書を楽しんでいただくため、閲覧室内に大活字本（大きな活字の本）コーナーを設置し、貸出をしている。「読む」サポートコーナー内ではマルチメディアデジ（文章を音声で聞きながらパソコン画面上で絵や写真を見ることができる）、LLブック（写真、絵記号、分かち書きなどを用いた視覚的に分かりやすい本）を貸出している。また、児童図書室にも「りんごの棚」を設置し、大きな文字の本、LLブックや点字図書など、わかりやすい本やさわって楽しめる本などを貸出している。

読書支援機器として、拡大読書器やリーディングトラッカー、拡大鏡などを設置している。



「読む」サポートコーナー（閲覧室）



りんごの棚（児童図書室）



拡大読書器（閲覧室）

キ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がいを持つ方等への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

- 視覚障がい者等サービス利用登録者
令和6年度（新規） 7人
令和6年度末計 25人
- 視覚障がい者等サービス延べ利用数
令和6年度 691点

ク パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席15席の計23席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉（令和6年度）

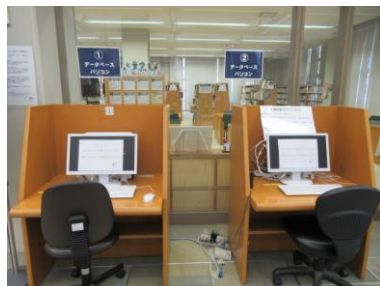
- ・ インターネット専用パソコン 延べ 1,591 人
- ・ 持込用パソコン席 延べ 4,473 人
- ・ データベース席 延べ 267 人

〈当館で利用できる有料データベース〉

データベース名	内 容
宮日データベース	2001 年 4 月以降に掲載された宮崎日日新聞の記事をキーワード検索
宮崎県郷土紙 デジタルアーカイブ	明治 26 年 8 月以降の宮崎県郷土紙を閲覧
官報情報検索サービス	1947 年 5 月 3 日分から当日発行分までの官報の内容を日付やキーワードを指定して検索・閲覧
Westlaw Japan	日本の法令、判例の文献情報を検索
ジャパンナレッジ	70 以上の辞事典、叢書、雑誌を検索
ルール電子図書館	『現代農業』や『季刊地域』など、農文協が発行した雑誌や書籍を閲覧
JDreamIII	国内外の科学技術や医学薬学関係の文献情報を検索



インターネット専用パソコン



データベース専用パソコン



持込用パソコン席

ケ 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
件 数	2,880	2,749	2,989	2,751	2,577
枚 数	22,841	27,815	25,561	25,076	24,370

コ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※ レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

○ 法律相談

- ・ 法律相談会（8月を除く毎月第2金曜日） 実施数 7回 参加者数 17名
（7月、11月、2月はキャンセル等のため、2月は特別整理期間延長のため中止）

- ・ 県下一斉無料相談会
令和7年3月2日（日） 相談者数 130 名

- 不動産相談
不動産無料相談会
令和6年4月13日（土） 相談者数 12 名 相談件数 13 件
令和6年10月19日（土） 相談者数 9 名 相談件数 10 件

- ランタンのつどい
自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）
令和6年度 実施数 12 回 参加者数 75 名

- まちの保健室
相談者数（令和6年度） 延べ 600 人

- 令和6年度がんサロン
令和6年11月4日（月） 参加者 61 人

- ビジネス支援におけるサポステ図書館出張（令和6年7月開始、毎月第4水曜日開催）
サポステ図書館出張 相談者数 24 人
ビジネス支援ミニコーナー 相談者数 22 人

(3) 館外利用事業

① やまびこ文庫

やまびこ文庫は、市町村・団体支援用専門資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援等を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

令和6年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,500		美郷町立北郷図書館	1,500
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室	1,200		美郷町立南郷図書館	1,200
日之影町	日之影町立図書館	900	高 原 町	高原町中央公民館図書室	1,500
西米良村	西米良村立図書室	90		合 計	10,890

〈学校支援事業〉

令和6年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	学 校 名	貸出冊数	市町村名	学 校 名	貸出冊数
高千穂町	押方小学校	450	椎葉村	椎葉小学校	630
	田原小学校	900		尾向小学校	630
	岩戸小学校	1,500		不土野小学校	900
	上野小中学校	1,260		大河内小学校	840
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450		松尾小学校	810
				椎葉中学校	450
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	990	宮崎市	明星視覚支援学校	240
	三ヶ所小学校	1,500		赤江まつばら支援学校	360
	坂本小学校	1,500		みなみのかぜ支援学校	750
	上組小学校	1,110		清武せいりゅう支援学校	600
	五ヶ瀬中学校	525		宮崎海洋高等学校	400
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		宮崎県教育支援センター「コネクト」	280
諸塚村	諸塚小学校	1,170	都城市	都城さくら聴覚支援学校	630
	荒谷小学校	400			
日之影町	日之影中学校	750	日南市	日南くろしお支援学校	1,500
西米良村	西米良中学校	600	日向市	日向ひまわり支援学校	450
美郷町	美郷北義務教育学校	900	新富町	児湯るびなす支援学校	600
	美郷南学園	840	小林市	小林こすもす支援学校	600
				合 計	26,715

イ 市町村・団体支援用専用資料での貸出による支援

市町村・団体支援用専用資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉

令和6年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
都農町	都農町民図書館	402	宮崎市	高岡地区交流センター図書室	300
				合 計	702

〈児童教育施設等支援事業〉

（令和7年4月1日現在）

単位（施設・冊）

登録施設数	25	貸出冊数	4,860
-------	----	------	-------

② セット文庫

町村立図書館・室及び町村立学校、県立特別支援学校を対象にセット組された資料を貸し出し、読書環境整備や調べ学習を支援する。令和３年度に要項を一部改訂し、令和４年度から運用を開始した。

令和６年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	学校名	貸出冊数
美郷町	美郷町立西郷図書館	463	国富町	国富町立森永小学校	122
	美郷町立北郷図書館	530		国富町立八代小学校	104
高千穂町	高千穂町立図書館	204	都農町	都農町立都農南小学校	23
日之影町	日之影町立図書館	50		都農町立都農小学校	6
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	17	日之影町	日之影町立宮水小学校	131
				合 計	1,650

③ 子育て支援図書セット貸出

専門家による評価や利用者の声などを参考に選書した育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館（室）へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

〈令和６年度 貸出冊数 930 冊〉

市町村名	図書館・図書室名	市町村名	図書館・図書室名
高 千 穂 町	高千穂町立図書館	都 農 町	都農町民図書館
五 ヶ 瀬 町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	美 郷 町	美郷町立西郷図書館
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室		美郷町立北郷図書館
日 之 影 町	日之影町立図書館		美郷町立南郷図書館
高 鍋 町	町立高鍋図書館	高 原 町	高原町中央公民館図書室
国 富 町	国富町立図書館		

④ 団体文庫

〈令和６年度 利用実績〉（令和７年４月１日現在登録団体数 25 団体）

利用実績	2,986（貸出冊数＋読書振興室利用回数）
------	-----------------------

(4) 図書館ネットワーク事業

遠隔地からでも県立図書館の資料を県内公共図書館・室等を通じて予約し、貸出利用することができる「県立図書館の本お取り寄せサービス（マイラインサービス）」による県立図書館資料の貸出実績。

〈令和6年度 貸出状況〉

① 公共図書館・室

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
宮崎市立図書館	0	都農町民図書館	206
宮崎市立佐土原図書館	49	門川町立図書館	36
都城市立図書館	245	美郷町立西郷図書館	234
都城市立高城図書館	8	美郷町立北郷図書館	104
延岡市立図書館	280	美郷町立南郷図書館	53
延岡市立図書館北方分館	2	高千穂町立図書館	151
延岡市立図書館北浦分館	3	宮崎市清武文化会館図書室	9
延岡市立図書館北川分館	7	宮崎市田野公民館図書室	8
日南市立図書館	515	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	32
小林市立図書館	193	都城市山之口地区公民館図書室	7
日向市立図書館	339	都城市山田総合センター図書室	38
串間市立図書館	65	都城市高崎たちばな学び館	8
西都市立図書館	67	高原町中央公民館図書室	53
えびの市民図書館	34	西米良村立図書室	4
三股町立図書館	116	木城町総合交流センターリパリス図書室	99
国富町立図書館	183	諸塚村中央公民館図書室	12
綾てるは図書館	121	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	14
町立高鍋図書館	339	日之影町立図書館	405
新富町図書館	53	五ヶ瀬町教育委員会図書室	42
川南町立図書館	44	小 計	4,178

② 県立学校

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
県立五ヶ瀬中等教育学校	83	県立福島高等学校	0
県立日向高等学校	0	県立都城泉ヶ丘高等学校	201
県立富島高等学校	0	県立延岡星雲高等学校	10
県立宮崎南高等学校	22	県立高千穂高等学校	4
県立佐土原高等学校	13	県立飯野高等学校	0

県立宮崎商業高等学校	148	県立小林高等学校	91
県立日南振徳高等学校	15	県立延岡商業高等学校	0
県立都城農業高等学校	0	県立宮崎工業高等学校	0
県立宮崎北高等学校	98	県立高鍋農業高等学校	0
県立高鍋高等学校	0	県立本庄高等学校	42
県立宮崎東高等学校	0	県立宮崎海洋高等学校	14
県立妻高等学校	72	県立都城工業高等学校	3
県立日向工業高等学校	7		
県立宮崎西高等学校	102	小 計	925

③ 大学等

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
宮崎大学附属図書館本館	56	宮崎学園図書館	12
宮崎大学附属図書館医学分館	0	宮崎学園高等学校	0
県立看護大学	4	小 計	72

単位（冊）

①～③の合計	5,175
--------	-------

(5) 訪問支援

平成 28 年度から、市町村図書館・室や県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。訪問支援は、全市町村図書館・室を対象とした定期訪問と市町村図書館・室や県立学校等からの要請に応じて行う要請訪問に区別している。令和 6 年度の定期訪問は、全市町村図書館・室を対象とし、26 回行った。また、要請訪問の依頼は 1 件あった。

<令和 6 年度訪問状況>

① 定期訪問

期日	訪問施設名	期日	訪問施設名
5 月 28 日	宮崎市田野地区交流センター図書室	6 月 18 日	西米良村立図書室
5 月 29 日	小林市立図書館	6 月 24 日	都城市立図書館
	小林市立図書館 野尻分館	6 月 25 日	町立高鍋図書館
6 月 3 日	高千穂町立図書館	6 月 26 日	新富町図書館
6 月 4 日	都城市山之口総合センター図書室	9 月 2 日	日之影町立図書館
6 月 5 日	宮崎市高岡地区交流センター図書室	9 月 3 日	高原町中央公民館図書室
6 月 6 日	延岡市立図書館	9 月 5 日	串間市立図書館
	延岡市立図書館 北方分館	9 月 9 日	諸塚村中央公民館図書室
6 月 7 日	美郷町立西郷図書館	9 月 12 日	三股町立図書館
	美郷町立北郷図書館	9 月 13 日	五ヶ瀬町教育委員会図書室

6月10日	綾てるは図書館	9月25日	えびの市民図書館
6月12日	都城市山田総合センター図書室	10月11日	都城市高崎たちばな学び館
6月13日	日南市立図書館		
	日南市立まなびピア図書館		

② 要請訪問

期日	要請依頼施設名	要請内容
11月14日	都城市高崎たちばな学び館	図書館運営支援（本の修理）

(6) アドバイザー派遣

各図書館・室の要望に応え県立図書館職員を講師として派遣した。

〈令和6年度派遣状況〉

派遣日	希望館・室	派遣メニュー
10月1日	宮崎市立図書館	複写サービスに関する著作権
10月15日	綾てるは図書館	ブックピクニックの運営方法について
10月29日	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	県立図書館における健康情報サービス（音読・朗読教室の計画・実施・運営）
11月1日	小林市立図書館	子どもたちの読書活動の重要性について（ブックトーク・読み聞かせの実演）
11月7日	都城市立図書館	子どもたちの読書活動の重要性について（ブックトーク・読み聞かせの実演）
11月20日	三股町立図書館	県立図書館を利用したレファレンス
11月27日	えびの市民図書館	複写サービスに関する著作権
11月28日	都農町民図書館	ブックピクニックの運営方法について
12月2日	西都市立図書館	Web情報を活用したレファレンス
12月2日	日之影町立図書館	障害者サービスの提供に向けて（宮崎県立図書館の実践）
12月26日	川南町立図書館	複写サービスに関する著作権
1月28日	宮崎市立佐土原図書館	子どもたちの読書活動の重要性について（ブックトークのみ）

(7) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出、及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出利用状況 単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

令和6年度	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出件数	利用回数	利用者数
合 計	18	14	2,475	13	15	770

② 視聴覚行事

〈映写会〉

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

ア 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月25日(土)	「おまえうまそうだな」「きみはほんとうにステキだね」	89
合 計			89

イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	7月24日(水)	「ラーゲリより愛を込めて」	135
2	9月11日(水)	「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」	84
3	9月28日(土)	ドキュメンタリー映画「塩月桃甫」	40
		ドキュメンタリー映画「中村地平」	67
4	1月25日(土)	「かがみの孤城」	37
合 計			363

〈メモリアル宮崎～郷土を知ろう～〉

これまでの宮崎県の歩みを知り、興味をもつきっかけになるよう、本館所蔵の郷土に関する貴重な16ミリフィルムの上映会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	2月16日(日)	「宮崎の牛乳」	9
2	3月5日(水)	「みやぎき」	13
合 計			22

〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	6月23日(日)	レコードコンサート 「クラシック&ポップス」	74
2	11月4日(月/振替休日)	Brass Ensemble Ricco による生演奏・県立図書館職員による読み聞かせ	288
合 計			362



レコードコンサートの様子



生演奏コンサートの様子

(8) ひなた電子図書館

貴重書デジタルアーカイブに加え、非来館型サービスの一環として、令和6年9月から電子書籍サービス（LibrariE・KinoDen）、令和7年3月からデジタル宮崎県史の運用を開始した。

① 電子書籍サービス（電子図書館サービス拡充事業）

ア 電子図書館資料数・利用状況（学校利用数は LibrariE のみ）（令和7年3月31日現在）

区 分		令和6年度	
		総 数	うち学校利用数
LibrariE	資料（点）	2, 2 6 7	
	貸出（回）	1 8, 8 8 5	1 7, 3 2 3
	閲覧（回）	1 6 9, 6 4 7	1 6 2, 1 7 8
	利用者（人）	2 2, 0 9 3	1 9, 6 8 6
Kinoden	資料（点）	2, 4 9 8	
	閲覧（回）	1 1, 3 2 3	
合 計	資料（点）	4, 7 6 5	
	閲覧（回）	1 8 0, 9 7 0	

イ 電子図書館分類別資料数

単位（点）

区 分	LibrariE	KinoDen	合 計	割合(%)
0 総 記	9 9	1 9 2	2 9 1	6. 1
1 哲 学	5 4	1 5 3	2 0 7	4. 3
2 歴 史	1 1 0	2 4 2	3 5 2	7. 4
3 社会科学	2 1 4	6 1 5	8 2 9	1 7. 4
4 自然科学	3 0 7	2 6 9	5 7 6	1 2. 1
5 技 術	9 9	2 2 3	3 2 2	6. 8
6 産 業	6 1	2 5 4	3 1 5	6. 6
7 芸 術	1 8 1	2 0 7	3 8 8	8. 1
8 言 語	8 7	1 6 2	2 4 9	5. 2
9 文 学	8 9 2	1 4 4	1, 0 3 6	2 1. 7
E 絵 本	1 9 2	0	1 9 2	3. 4
オーディオ	1	3 7	3 8	0. 8
合 計	2, 2 6 7	2, 4 9 8	4, 7 6 5	1 0 0. 0

② 貴重書デジタルアーカイブ

※（12）郷土資料調査研究事業の項目③を参照

③ デジタル宮崎県史（『宮崎県史』デジタルアーカイブ）

※（12）郷土資料調査研究事業の項目④を参照

(9) 閲覧室内展示

① 特設展示コーナー

閲覧室入口近くにコーナーを設け、各担当が掲げたテーマに関する書籍の紹介を行った。

回	期 間	特設展示コーナー内容	担 当
1	4 月 1 日 ～ 5 月 7 日	レイチェル・カーソン没後 60 年	資料管理
2	5 月 8 日 ～ 6 月 3 日	郷土料理～次世代に伝えたい味～	郷土
3	6 月 4 日 ～ 7 月 1 日	新紙幣に変わります！～お札になった人々～	情報提供
4	7 月 2 日 ～ 8 月 5 日	All we need is peace～平和について考えよう～	普及
5	8 月 6 日 ～ 9 月 9 日	再注目される作家「中村地平」～知性文学作品の紹介	郷土
6	9 月 10 日 ～ 11 月 11 日	県立図書館電子書籍サービスについて	企画
7	11 月 12 日 ～ 12 月 16 日	短編作品で読書を楽しもう	情報提供
8	12 月 17 日 ～ 1 月 20 日	牧水 歌を情緒に出会う	郷土
9	1 月 21 日 ～ 2 月 25 日	オーディオの歴史	普及
10	2 月 26 日 ～ 3 月 31 日	箱展	資料管理

② 産廃基金コーナー

宮崎県産業廃棄物税基金を活用して収集した環境関連の資料をコーナー展示している。

産廃基金コーナー



③ 企画展示コーナー

月ごとに図書館司書がテーマを設定し、それに合った選書をしている。テーマは、時節に合わせたもの（例：新しい生活や出会い、防災を考える）や社会の動きに合わせたもの（例：芥川賞、直木賞、本屋大賞）にしており、貸し出しも多い。

さらに、書庫にある児童文学と絵本を展示しているコーナーもある。書庫の児童文学や絵本は、児童室の貸し出し 5 冊に含まれないことから、たくさんの本を借りたい利用者の利用が多い。また、児童室が閉館する 17 時以降の利用も多い。

このほか、新着資料コーナー横では、図書館司書や名誉館長のおすすめ本をポップや解説文とともに展示し、貸し出しを行っている。

④ 博物館との連携展示

博物館が主催する夏と秋の特別展に合わせて関連展示を行った。

期 間	展示コーナー内容
5 月 1 日 ～ 6 月 9 日	第 44 回 S S P 展
7 月 17 日 ～ 9 月 8 日	特別展毒モンスター水族館
10 月 16 日 ～ 11 月 24 日	特別展化石タイムカプセル



毒モンスター水族館展の展示風景

(10) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）

県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施している。

〈令和6年度実績〉 ◎主催 ○共催 合計 34 事業

節	内 容	担当課・室等	期日
1	・宮崎の古墳文化パネル展	文化財課	4/3(水)～
	・インフラストック効果パネル展	技術企画課	4/14(日)
2	◎こどもの読書週間企画展	県立図書館	4/16(火)～ 5/6(月・祝)
3	・自転車マナーアップ強化月間企画展	生活・協働・男女参画課	5/9(木)～
	・消費生活問題啓発パネル展	生活・協働・男女参画課	5/19(日)
4	・思春期こころの健康	障がい福祉課	5/22(水)～
	・宮崎県の農業遺産	農政企画課	6/2(日)
5	・みどりの特別企画展	環境森林課	6/5(水)～
	・令和6年度「土砂災害防止月間」パネル展	砂防課	6/16(日)
6	・河川愛護ポスター展 & 安全な水辺活動の推進	河川課	6/19(水)～
	・男女共同参画パネル展	生活・協働・男女参画課	6/30(日)
7	・ご存じですか、高次脳機能障がい	障がい福祉課	7/3(水)～
	・森林・林業にふれてみませんか！	森林経営課	7/15(月・祝)
8	・統計グラフコンクールの作品展	統計調査課	7/18(木)～
	・土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展	環境管理課	7/28(日)
9	・農畜水産業の技術最前線	農業普及技術課	7/31(水)～ 8/12(月・祝)
10	◎県立図書館自主企画展「所蔵資料から」	県立図書館	8/14(水)～ 9/1(日)
11	○NHK 大河ドラマ「光る君へ」全国巡回展	県立図書館	9/3(火)～ 9/8(日)
12	○宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展	県立図書館	9/25(水)～ 10/14(月・祝)
13	◎秋の読書週間企画展	県立図書館	10/16(水)～ 11/4(月・祝)
14	・「税を考える週間」特別企画	税務課	11/7(木)～
	・『祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク』&『霧島ジオパーク』の魅力	中山間地域政策課	11/17(日)
15	・ひなたゼロカーボン 2050 ギャラリー展	環境森林課	11/20(水)～
	・みやざき食品ロス削減パネル展	循環社会推進課	12/1(日)
16	・里親制度普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン	こども家庭課	12/4(水)～
	・私とみんなの共生社会シンポジウム 展示の部	特別支援教育課	12/15(日)

17	・ 人権啓発パネル展	人権同和対策課	12/18(水)～
	・ シニアパワー宮崎づくり企画展	長寿介護課	12/27 (金)
18	・ 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ展	国スポ・障スポ局	1/8(水)～ 1/26 (日)
19	◎視聴覚コレクション展	県立図書館	2/15(土)～ 2/16 (日)
20	・ みやぎきの「ひと」	みやぎき文化振興課	2/19(水)～
	・ サイバー犯罪被害防止パネル展	サイバー犯罪対策課	3/2 (日)
21	・ 「県民との協働」パネル展	生活・協働・男女参画課	3/5(水)～
	・ がん検診受診率向上パネル展	健康増進課	3/23 (日)



ギャラリー展の展示風景

② 県内公共図書館・室における巡回展

ギャラリー展の展示内容について、生活や地域の課題に関わる身近な情報として県内各地に周知するため、平成 27 年度から希望する公共図書館・室での巡回展示を行っている。

〈令和6年度実績〉 合計 21 館・室 45 事業

	場 所	内 容	担当課・室等	時期
1	宮崎市立佐土原図書館	NOSA I 「宮崎の農村」写真展	農政企画課	5 月
		日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展	国スポ・障スポ局	8 月
		美しい宮崎づくりパネル展	都市計画課	7 月
2	宮崎市きよたけ児童文化センター図書室	森林・林業にふれてみませんか！	森林経営課	12 月
3	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	消費者教育巡回パネル展	生活・協働・男女参画課	11 月
		ふるさとの水辺発表会	環境管理課	7 月
4	延岡市立図書館	統計グラフコンクール作品展	統計調査課	12 月～2 月
5	日南市立図書館（本館）	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力	中山間・地域政策課	6 月
		消費者教育巡回パネル展	生活・協働・男女参画課	3 月
		美しい宮崎づくりパネル展	都市計画課	8 月
6	日南市立まなびピア図書館	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展	国スポ・障スポ局	1 月・2 月
		消費者教育巡回パネル展	生活・協働・男女参画課	9 月

7	日南市立北郷図書館	令和6年度「土砂災害防止月間」パネル展	砂防課	9月
		ご存じですか、高次脳機能障がい	障がい福祉課	5月
		消費者教育巡回パネル展	生活・協働・男女参画課	3月
8	日南市立南郷図書館	里親普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン	こども家庭課	7月
		みやぎ食品ロス削減パネル展	循環社会推進課	8月
		もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと	企業局総務課	8月・9月
9	日向市立図書館	令和6年度「土砂災害防止月間」パネル展	砂防課	7月
		犯罪被害者支援に関する企画展	県民広報課	10月
10	西都市立図書館	森林・林業にふれてみませんか！	森林経営課	5月
		令和6年度「土砂災害防止月間」パネル展	砂防課	9月
		里親普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン	こども家庭課	11月
		消費者教育巡回パネル展	生活・協働・男女参画課	2月
11	えびの市民図書館	ふるさとの水辺発表会	環境管理課	3月
12	三股町立図書館	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展	生活・協働・男女参画課	2月・3月
		犯罪被害者支援に関する企画展	県民広報課	5月
		霧島ジオパークの魅力	中山間・地域政策課	2月
13	国富町立図書館	NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課	6月・7月
14	綾てるは図書館	もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと	企業局総務課	7月
15	新富町図書館	宮崎の古墳文化パネル展	文化財課	8月
16	都農町民図書館	河川愛護ポスター展&安全な水辺活動の推進	河川課	5月
		統計グラフコンクール作品展	統計調査課	6月
		日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展	国スポ・障スポ局	10月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課	9月
		消費者教育巡回パネル展	生活・協働・男女参画課	2月・3月
17	門川町立図書館	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力	中山間・地域政策課	11月
18	美郷町立西郷図書館	中山間地域をみんなで支える県民運動	中山間・地域政策課	12月
		森林・林業にふれてみませんか！	森林経営課	7月・8月
		消費者教育巡回パネル展	生活・協働・男女参画課	11月
19	高千穂町立図書館	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力	中山間・地域政策課	6月・7月
		日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展	国スポ・障スポ局	9月・10月
20	日之影町立図書館	令和6年度「土砂災害防止月間」パネル展	砂防課	6月
21	五ヶ瀬町教育委員会図書館	統計グラフコンクール作品展	統計調査課	5月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展	農政企画課	7月

(11) 文化活動事業

① 第 66 回「こどもの読書週間」関連行事

毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の関連行事を企画し実施した。

期 間 令和6年4月16日(火)～5月6日(月)

内 容

ア 企画展示1「みんなの本棚～バリアフリーなこどもの本～」

内 容：障がいについて理解を深める絵本や児童図書などの紹介

イ 企画展示2「児童図書室紹介コーナー」

内 容：多く読まれた本20冊、読み聞かせボランティア、かば先生文庫などの紹介

ウ 特別おはなし会Ⅰ「外国語で絵本を楽しもう」

内 容：宮崎公立大学外国語読み聞かせ部による英語の絵本の読み聞かせと手遊び歌

エ 特別おはなし会Ⅱ「しゅわでおはなし会」

内 容：児童図書室職員による手話を組み合わせた読み聞かせ

オ 絵本ワークショップⅠ「みんなでたのしむ しかけ絵本」

内 容：児童図書室職員によるワークショップ

カ 絵本ワークショップⅡ「かんたんリーディングトラッカーづくり」

内 容：児童図書室職員によるワークショップ

キ おはなし会

内 容：ボランティア団体、図書館職員による絵本や紙芝居の読み聞かせ



企画展の展示風景



特別おはなし会の様子



絵本ワークショップの様子

② 第 78 回「秋の読書週間」関連行事

毎年10月27日の「読書の日」を初日として、この日から11月9日までの期間は「秋の読書週間」とされており、子どもから大人まで様々な世代が本に親しみ、読書を楽しむことを通して文化を育むための啓発期間である。

県立図書館においても、「読書県みやぎを支える本屋さん」と題し、情報提供に御協力いただいた県内13店の書店を紹介する展示を行った。参加型の展示として「本屋さんでのエピソード」という掲示板も設置した。また、期間中に2つのイベントを実施した。トークイベント「お

しえて！本屋さん」では、書店員2名をゲストに迎え、書店の紹介や観覧者からの質問に回答した。約20名の観覧があった。ワークショップ「本友のススメ」は8名の参加があり、オススの本を持ち寄って紹介し合い、交流を深めた。



企画展の展示風景
「書店の紹介」パネルや、
関連書籍、新聞記事など



「しえて！本屋さん」の様子

開催日：令和6年10月26日

登壇書店：田中書店株式会社

有限会社都城金海堂本店



「本友のススメ」の様子

開催日：令和6年10月26日

③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。

令和6年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

〈特別展〉

「中村地平の足跡（あしあと）」

期 間 令和6年9月21日（土）～11月24日（日） 開催日数：55日

内 容 郷土出身の作家・中村地平の直筆原稿や妻宛ての書簡、作品初掲出の雑誌等の新資料を加え約2ヶ月間の特別展として開催した。戦前・戦後を通し作家としてだけでなく、地方文化の発展や作詞・人材の育成にも尽力した文化人としての側面も紹介した。



特別展「中村地平の足跡」の展示風景

〈企画展〉

「牧水遺墨展」

期 間 令和6年12月7日（土）～1月26日（日） 開催日数：37日

内 容 令和6年3月より、本館ではデジタルアーカイブ上で小林邦雄コレクションの若山牧水遺墨30点の公開を始めた。デジタル化事業への理解と、デジタルアーカイブ利用促進のため、現役世代から将来世代である学生・高校生までを対象として、公開した牧水遺墨のうち14点と、牧水に関する資料を中心に展示会を開催した。

〈巡回展〉

会場・期間 ○ 巡回展「中近世の日向国」

綾てるは図書館・・・・・・・・・・5月14日（火）～5月31日（金）

日南市立北郷図書館・・・・・・・・・・10月2日（水）～10月31日（木）

都農町民図書館・・・・・・・・・・11月1日（金）～12月6日（金）

○ 巡回展「宮崎の鉄道～鉄道敷設の歴史～」

西都市立図書館・・・・・・・・・・4月9日（火）～4月21日（日）

宮崎市立図書館・・・・・・・・・・4月24日（水）～5月6日（月）

日向市立図書館・・・・・・・・・・5月14日（火）～6月2日（日）

宮崎日大中・高等学校・・・・・・・・・・6月3日（月）～6月17日（月）

新富町立図書館・・・・・・・・・・6月18日（火）～7月15日（月）

延岡市立図書館・・・・・・・・・・8月3日（土）～8月25日（日）

美郷町立西郷図書館・・・・・・・・・・8月27日（火）～9月20日（金）

日之影町立図書館・・・・・・・・・・9月23日（月）～10月6日（日）

日南市立まなびピア・・・・・・・・・・10月22日（火）～11月10日（日）

日南市立図書館（飫肥）・・・・・・・・・・11月13日（水）～12月3日（火）

三股町立図書館・・・・・・・・・・12月3日（火）～12月27日（金）

宮崎大学附属図書館・・・・・・・・・・1月7日（火）～2月7日（金）

宮崎市立佐土原図書館・・・・・・・・・・2月19日（水）～3月10日（月）

川南町立図書館・・・・・・・・・・3月11日（火）～3月26日（水）

内 容 令和4年度に実施した特別展「中近世の日向国」、令和5年度に実施した特別展「宮崎の鉄道～鉄道敷設の歴史～」を再構成し、県内の市町村立図書館や資料館等公共施設で実施した。

〈共催展〉

「遺跡発掘成果展 2024『東九州自動車道 118 遺跡 ～清武～西都編～』」

期 間 令和7年2月19日（水）～同年3月9日（日） 開催日数：17日

内 容 宮崎県埋蔵文化財センターが、東九州自動車道の建設にあたり発掘調査を行った清武～西都間の遺跡から出土した遺物を、宮崎県埋蔵文化財センターとの共催で展示した。

④ 郷土史料等学習活動

〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の研修ホールにおいて次のとおり実施した。

今年度は郷土出身の「作家・中村地平」にフォーカスし、特別展「中村地平の足跡」開催期間中の10月6日（日）に、関連した講演と研究者等による鼎談を同日の午前と午後で実施した。

受講者計 67 名

期 日		演 題	講 師	受講者
10月6日(日)	午前	講演「中村地平と台湾」	河原 功 氏 (台湾文学研究家)	32 名
	午後	鼎談「作家・中村地平」	岡林 稔 氏 (宮崎大学名誉教授) 河原 功 氏 (台湾文学研究家) 小松 孝英 氏 (美術家兼映画監督)	35 名



文化講座（午前の部：講演）



文化講座（午後の部：鼎談）

〈古文書講座〉

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史について理解を深めていただくことを目的に、当館が所蔵する史料等をテキストとして利用して、古文書解読の講座を実施した。

受講者計 89 名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	6 月 1 日(土)	地方(じかた)文書の世界～村の生活をしのび、歴史をつなぐ～(全4回の統一テーマ)	柘植 幹雄 氏 (県史料筆耕解読員)	32 名
2	7 月 6 日(土)			21 名
3	8 月 3 日(土)			21 名
4	9 月 7 日(土)			15 名

(12) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料等をデジタル化し、デジタルアーカイブの充実を図る。

① 『宮崎県史料』

昭和 49 年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

令和 6 年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（二十六）』を刊行した。（100 部）

② 『宮崎県文化講座研究紀要』

昭和 49 年度から「宮崎県地方史講座」として解説し、平成 19 年度から地域の歴史のみならず、自然科学などの分野にも範囲をひろげることにより、幅広い文化の発信と理解を目指して『宮崎県文化講座』と改称した。本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

令和 6 年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第 51 輯』を刊行した。(100 部)

③ 貴重書デジタルアーカイブ

1,296 点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。令和 6 年度は 59 点、7,355 コマを公開した。

④ デジタル宮崎県史

「宮崎県史」のうち通史編 7 冊（原始・古代 1、古代 2、中世、近世上、近世下、近・現代 1、近・現代 2）、資料編 2 冊（民俗 1、民俗 2）、別編 2 冊（民俗、年表）の計 11 冊を電子化し、令和 7 年 3 月 28 日からホームページで公開している。

(13) 広報活動等

① 「緑陰通信」発行事業

昭和 25 年から、宮崎県立図書館報として「緑陰通信」を発行している。

令和 6 年度は、No. 241（6 月）、No. 242（10 月）及び No. 243（2 月）を発行した。

② ホームページ等活用事業

県内均質のサービス向上を図るとともに、地域の情報拠点としての役割を果たすため、ホームページを通じて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

また、SNS による情報発信として、公式フェイスブック及びインスタグラムを運用している。

〈主な内容〉

- ・ 総合利用案内
- ・ 行事の案内と紹介
- ・ 郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・ 県立図書館蔵書検索
- ・ 県内公共図書館等の横断検索
(当館を含む 24 館が参加)
- ・ パスファインダー
(調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介)
- ・ 電子メールによるレファレンス
- ・ 資料貸出予約申し込み
- ・ ひなた電子図書館
(電子書籍サービス、デジタルアーカイブ)



〈パソコン用ホームページトップページアクセス件数の推移〉

単位（件）

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	243,672	163,523	169,170	262,675	336,919

※ 令和3年度から集計のための計測ツールを変更した。

〈フェイスブックアクセス件数・フォロワー数〉

単位（件・人）

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
アクセス件数	19,054	25,618	29,406	35,145	30,441
フォロワー数	530	601	649	673	700



〈インスタグラムアクセス件数・フォロワー数〉

単位（件・人）

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
アクセス件数	—	—	1,326	11,515	24,335
フォロワー数	—	—	104	325	689



※ 令和4年10月から運用開始した。

③ 体験学習・施設見学

〈職場体験学習〉

単位（人）

実施日	内 容	参加者数
8月22日～8月23日	県庁インターンシップ	3
8月27日～8月29日 9月4日、5日	司書実習（宮崎学園短期大学）	9
9月3日～9月6日、 9月10日	社会教育主事実習	1
7月4日～7月5日	職場体験学習（宮崎市立北中学校）	2
7月4日～7月5日	職場体験学習（宮崎市立大塚中学校）	3
7月18日、19日、8月 30日（台風で中止）、 9月6日、13日	職場体験学習（本庄高校）	1
11月20日～11月22日	職場体験学習（宮崎市立大宮中学校）	3
11月26日～11月28日	職場体験学習（宮崎市立東大宮中学校）	4
1月21日～1月23日	職場体験学習（宮崎市立赤江中学校）	2
2月26日	大学インターンシップ	3
合 計		31

〈施設見学〉

単位（人）

実施日	団体名	参加者数
4月19日	宮崎大学附属中学校	157
5月17日	宮崎市立大宮小学校	140
6月20日	宮崎公立大学日本文学ゼミ	10
10月30日	国富町立本庄小学校	61
11月1日	都城市立西小学校（家庭支援学級）	11
11月6日	宮崎市立江平小学校	136
11月8日	宮崎市立倉岡小学校	46
11月13日	新富町立上新田小学校	19
11月15日	宮崎市立高岡小学校	88
11月15日	新富町立新田小学校	32
12月3日	宮崎市立潮見小学校（家庭支援学級）	6
12月13日	宮崎大学附属小学校	96
3月7日	みやざき認定こども園	28
3月11日	宮崎至慶幼稚園	30
3月18日	認定こども園ソレイユ	34
合 計		894

(14) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、児童図書の寄贈申出があった。そこで、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生コーナー」（平成25年4月29日開設）を設けて13年目を迎えた。

〈かば先生文庫整備数〉（令和7年3月31日現在）

2,171冊 内訳 児童図書室 873冊
 B M 書 庫 1,298冊

(15) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催又は県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。また、令和6年度は電子書籍サービスを開始したことに伴い、記念催事を行った。

① ひなた電子図書館（通称：ひなデジ）オープニングセレモニー

主催：県教育委員会、県立図書館

「ひなた電子図書館」（通称：ひなデジ）による電子書籍サービスの本格運用開始を記念して、大型モニターを使った除幕式や電子書籍の体験会、読み聞かせコンサートなどをプログラムとする式典等を開催し、ひなた電子図書館のPRと利用促進を図った。

(会場：1階ギャラリー)

期 日	内 容	参加者
9月26日(木)	I オープニングアクト みやぎ犬のパフォーマンス II 式 典 ・主催者挨拶 宮崎県教育委員会 教育長 ・来賓祝辞 宮崎県議会 文教警察企業常任委員会 委員長 ・来賓及び主催者紹介 ・ひなた電子図書館除幕式 ・ひなた電子図書館の概要説明 III 米良美一みやぎ読書アンバサダーによる読み聞かせコンサート IV ひなた電子図書館体験会	150名



オープニングセレモニーの様子

② 「第12回高校生ビジネスプラン・グランプリ ビジネスプラン作成講座」

共催：日本政策金融公庫熊本創業支援センター

県内の高校生及び高等専門学校生が事業計画作成について学ぶことを通して、大学生や社会人としてのプラン作成スキル等を習得することを目的としたビジネスプラン作成講座を開催した。

期 日	内 容	講 師	参加者
7月27日(土)	「ビジネスアイデア発想（基礎編）」	日本政策金融公庫職員	23名
	「ビジネスアイデア発想（応用編）」		
	「図書館活用講座・館内見学」	県立図書館職員	
	「ビジネスプラン作成（実践編）」	日本政策金融公庫職員	
	「ビジネスプラン作成（ブラッシュアップ編）」	日本政策金融公庫職員	
	「ビジネスプラン発表」	県立図書館職員	

③ 「みやぎ自然塾コロキウム」

主催：NPO法人みやぎ自然塾

定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場：視聴覚室 第66回のみ研修ホール)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	5月18日(土) (第63回)	トークセッション「宮崎地域に密着した資源園芸植物品種の開発と栽培について」	中村薫氏 (宮崎県総合農試 薬草・地域作物センター所長) 陳蘭庄氏 (南九州大学教授)	35名
2	7月20日(土) (第64回)	人の出会いは不思議な縁だ!! ～”ご縁”と”おかげ”に生かされて～	岩崎念唯氏 (宮崎市本郷北方 浄土宗 自然寺住職)	47名
3	11月30日(土) (第65回)	植物病害研究を通じた人と自然との一期一会	土屋健一氏 (九州大学名誉教授・みやぎ自然塾会員)	28名
4	1月25日(土) (第66回)	食の安全性、とくに食物アレルギーについて	中瀬昌之氏 (南九州大学学長)	31名
5	3月15日(土) (第67回)	ブータン王国の自然と人々の暮らし	西岡里子氏 (兵庫県西宮市在住の国際交流貢献者)	61名

④ 第9回宮崎県高等学校ビブリオバトル大会

主催：ビブリオバトル生徒実行委員会、宮崎県教育委員会

お気に入りの本を持ち寄り、その本の魅力を紹介する知的書評合戦であるビブリオバトルを開催した。第11回全国高等学校ビブリオバトル宮崎県予選大会を兼ねており、出場応募のあった県内の高校生13名(13校)が、4グループに分かれて発表した。

(会場：研修ホール、視聴覚室)

期 日	参 加 校	発表者
10月12日(土)	高鍋高校、佐土原高校、宮崎学園高校、宮崎商業高校、宮崎農業高校、宮崎大宮高校、延岡星雲高校、都城泉ヶ丘高校、五ヶ瀬中等教育学校、飯野高校、宮崎西高校、都城西高校、宮崎北高校	13名

⑤ 令和6年度「いいお産の日 in 宮崎」

主催：公益社団法人宮崎県看護協会

妊娠中や子育て中の家族が、地域とのつながりの輪を築くとともに、県立図書館の取組の周知と子育て支援に関する資料や児童図書の利用促進を図ることを目的として開催した。

(会場：研修ホール)

期 日	内 容	担 当	参加者
11月23日(土)	ママパパのための防災教室	宮崎県看護協会職員	150名
	絵本の読み聞かせ	県立図書館職員	
	みやぎき犬ダンスショー	宮崎県看護協会職員	
	防災バッグを見直そう、足型アートづくり	宮崎県看護協会職員	

	展示、体験コーナー	県助産師会 POLA 県歯科医師会 県立図書館職員	
--	-----------	------------------------------------	--

⑥ 第13回「宮崎の自然」合同研究発表会

主催：宮崎県総合博物館

県内の自然史を研究する団体が研究成果を発表し合い、その研究を深めるとともに、県民の興味・関心を高めることを目的とした研究発表会を開催した。

(会場：視聴覚室)

期 日	演 題	講 師	参加者
3月8日(土)	新富町富田浜のウミガメ保全活動と防犯カメラで記録した動画事例の紹介	後藤 博己 氏	69 名
	カタツムリの分布拡大について	西 邦雄 氏	
	祇園山のクサリサンゴ化石に関する内容	岡山 清英 氏	
	宮崎県のアオバスキの生息状況調査について	田辺 英樹 氏	
	シバンムシという甲虫	木野田 毅 氏	
	硫黄山の最近の活動状況について	高谷 精二 氏	
	宮崎神宮の池における外来生物調査	竹下 隼人 氏	
	木内石亭の著作物に記録された日向国の「奇石」	福島 佑一 氏	
	温暖化とシカの食害によるシダ分布の変化	赤木 康 氏	

⑦ 「読書県みやざき」×「宮崎だいすきポケモン」ナッシーを活用した読書振興の取組

連携機関：県生涯学習課、県観光推進課、株式会社ポケモン

本県と株式会社ポケモンとの「地域活性化に関する連携・協力協定」事業の一環で、ポケットモンスターキャラクターであり「宮崎だいすきポケモン」として親しまれている「ナッシー」の人気や知名度を活用した読書活動推進キャンペーンを行った。

秋の読書週間にちなみ、令和6年10月～11月の期間中、希望する利用者に対してスタンプカードを配布の上、本を借りた冊数に応じてスタンプを押し、その数によってナッシーがデザインされたオリジナルしおりを贈呈する取組で、当館を含む県内14の公立図書館で実施した。



(16) 置県 140 年宮崎県史等デジタル化及び活用推進事業

① 宮崎県史デジタル化事業

置県百年記念事業をきっかけに編纂された『宮崎県史』全 31 巻 32 冊のうち、県の歴史・文化の魅力に富み、県民の学びや研究にも適した 11 冊（通史編、資料編及び別編）をデジタル化し、デジタルアーカイブとしてインターネット上で公開した。

② Webコンテンツ作成事業（「ウィキペディアタウン in 延岡市」実施事業）

地域の歴史や文化を探訪し、図書館の資料等を活用しながら記事をまとめてインターネットのフリー百科事典「ウィキペディア」に投稿・発表する県民参加型ワークショップイベントであるウィキペディアタウンを延岡市立図書館との共催で実施した。

（会場：カルチャープラザのべおか）

期 日		内 容	講 師	参加者
2月22日（土）	午前	講義 「ウィキペディアを用いた地域情報の編集と発信」 延岡市内訪問 「今山大師寺」「延岡城跡」「延岡城・内藤記念博物館」	是住 久美子 氏 （田原市図書館長） M i y a . m 氏 （ベテランウィキペディアン）	15 名
	午後	記事テーマ別ワークショップ 「延岡城跡」「今山大師寺」「天下一新能」		



延岡城跡訪問の様子



ワークショップの様子

(17) 大学及び大学図書館との連携

- 宮崎大学との間で「国立大学法人宮崎大学と宮崎県立図書館との連携協力に関する協定」を平成 30 年 4 月 1 日付けで締結している。

〈主な実績〉

- ア 宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展
- イ 宮崎大学附属図書館における「若山牧水展」企画展示の実施
- ウ マイラインサービスの実施
- エ 相互遠隔地返却サービスの実施（令和 5 年 7 月から）

- 宮崎大学附属図書館、宮崎学園図書館（宮崎国際大学・宮崎学園短期大学）、宮崎県立看護大学附属図書館及び宮崎産業経営大学附属図書館との間で、オンラインによる横断検索システムを接続し運用している。

(18) 研修

図書館職員のスキルアップを図り、図書館サービスの向上につなげるため、県内外の様々な研修等に職員を派遣しているほか、館外の図書館等職員を対象とした研修を実施している。

ア 障害者サービス担当職員養成講座（入門）

期 日	会 場	内 容 等
6月6日～ 6月7日	日本図書館協会	主催 日本図書館協会 障害者サービスの各種講義（オンデマンドでも配信） 障害者サービス用資料・機器の展示と体験

イ 中堅職員ステップアップ研修（領域2：資料・情報との出会いを創出する）

期 日	会 場	内 容 等
7月8日～ 10月16日	オンライン形式	主催 日本図書館協会 情報サービスの評価、情報ニーズ、情報リテラシーに関する講義 課題成果の発表と討議

ウ 新任図書館長研修

期 日	会 場	内 容 等
9月18日～ 9月20日	オンライン形式	主催 文部科学省、国立大学法人筑波大学 特別講義 ①「書店・図書館等関係者における対話の場について」 大場 博幸 氏（日本大学） ②「北ヨーロッパにおける公共図書館の意義と役割」 吉田 右子 氏（筑波大学） 基本講義 「図書館行政の動向」 毛利 るみこ 氏（文部科学省） ほか

エ 児童文学連続講座

期 日	会 場	内 容 等
10月28日～ 10月29日	オンライン形式	主催 国立国会図書館 総合テーマ「変わる！子どもの読書環境と児童文学」に関する各種講義 国際子ども図書館の読書・学習支援コンテンツ紹介

オ 全国公共図書館研究集会（サービス部門/総合・経営部門）

期 日	会 場	内 容 等
11月11日～ 11月12日	オーテピア （オンライン併用）	主催 日本図書館協会等 基調講演 「住民自治としての協働を支える図書館 ～ケアとしての“学びの場”を コモンズとして育てる～」 嶋田 学 氏（京都橘大学） 各種事例発表、研究協議（パネルディスカッション）

カ 障害者サービス担当職員向け講座

期 日	会 場	内 容 等
11月12日～ 11月13日	オンライン形式	主催 国立国会図書館 障害者サービスと読書バリアフリー法 国立国会図書館の障害者図書館協力サービス ほか

キ 図書館総合展2024（オンラインセミナー）

期 日	会 場	内 容 等
11月20日	オンライン 形式	主催 図書館総合展運営委員会 テーマ 「電子図書館が支える読書と学習ー公共図書館における KinoDen/LibrariEー」 登壇者 千葉県立図書館、宮崎県立図書館 ほか

ク 第110回全国図書館大会長崎大会

期 日	会 場	内 容 等
11月30日～ 12月1日	長崎県庁 ほか (オンライン併用)	主催 日本図書館協会、長崎県等 テーマ 「図書館がつなぐ 人・まち・ミライ ～21世紀の出島（長崎）から～」 記念講演 「読書がもたらすもの」 澤田 瞳子 氏（小説家） 各種分科会（公共図書館、児童サービス、著作権等）

ケ 図書館基礎講座 in 九州（鹿児島）

期 日	会 場	内 容 等
2月10日 (2日目)	鹿児島県立 図書館	主催 日本図書館協会等 講座 「図書館の自由」 山口 真也 氏（沖縄国際大学） 講座 「現代の図書館の動向」 永利 和則 氏（福岡女子短期大学） 地域限定講座 「調べることはたのしい。利用者とのかかわりのなかで学んだこと」 吉田 美奈子 氏（鹿屋市立図書館）

コ 宮崎県公共図書館連絡協議会

期 日	会 場	内 容 等
6月10日	県立図書館	新任職員研修会（講師等はいずれも県立図書館職員） 説 明 「図書館ネットワークの活用法、市町村レファレンスについて」 「マイラインサービス・やまびこ文庫・セット文庫事業等について」 講 義 「読書活動についておさえておきたいこと」 「資料の収集等について」 情報交換 「新任司書としての課題や課題解決を図るために」
7月22日	県立図書館	職員研修 青少年サービス 講 義 「とある図書館のティーンズサービス 広場×学び舎×秘密基地」 「図書館と棚づくり」 高橋 将人 氏（福島県 南相馬市立中央図書館 司書）
8月19日	県立図書館 (オンライン併用)	政策研修 図書館経営 講 義 「これからの公共図書館の在り方と経営戦略について」 講 師 小泉 公乃 氏（国立大学法人筑波大学 図書館情報メディア系 准教授）
9月30日	県立図書館	職員研修 資料のデジタル化 講 義 「郷土資料のデジタル化及びデジタルアーカイブ構築」 岡本 常将 氏（国立国会図書館関西館 電子図書館課）

10月21日	県立図書館 (オンライン)	職員研修 著作権 講 義 「令和3年改正著作権法と図書館サービス」 小池 信彦 氏 (日本図書館協会著作権部会会長)
1月21日	県立図書館 (オンライン併用)	職員研修 レファレンス研修会 講 義 「レファレンスサービス」について 小林 昌樹 氏 (『近代出版研究』編集長)

(19) 図書館サポーター

県民の図書館への理解促進や県民の生涯学び続ける意欲の醸成の場とすること等を目的として、令和5年7月から運用を開始した事業である。2年目となる令和6年度は6名をサポーターとして登録し、閲覧室の配架作業や BM 書庫での簡易な資料修理や装備、資料の清拭等に取り組んだ。

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条及び県立図書館条例（昭和 25 年条例第 49 号）第 2 条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

① 委 員（任期：令和 6 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日）

区 分	所属・職名	氏 名	区 分	所属・職名	氏 名
社会教育 関 係 者	宮崎大学地域資源創成 学部教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社 生活文化部長	川路 善彦
//	都城市立図書館副館長	前田 小藻	//	会社員（公募枠委員）	小山 美香
学校教育 関 係 者	宮崎県立日向高等学校 指導教諭	山崎 俊一	社会教育 関 係 者	(株)HUTTE代表	今西 猛
//	都城市立高崎小学校長	満園 真由美	家庭教育 関 係 者	小林市小・中学校 「読みきかせ」連絡 協議会代表	坂下 実千代
学識経験者	都城島津邸主幹	山下 真一	//	美郷町教育委員（公 募枠委員）	橋口 美帆

※ 所属・職名は令和 6 年 7 月現在

② 令和 6 年度開催状況

開催年月日	協 議 事 項
令和 6 年 8 月 8 日(木)	ア 宮崎県立図書館の現状について イ 図書館評価について ウ 収蔵スペースの確保について エ 電子書籍サービスについて
令和 7 年 2 月 19 日(水)	ア 令和 6 年度の運営状況について イ アクションプラン評価項目目標値の一部見直しについて ウ 令和 7 年度の運営方針等について エ これからの県立図書館の在り方について（講演と意見交換） 講師：岡本 常将 氏（国立国会図書館関西館 電子図書館課）

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和 33 年に発足した。昭和 48 年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

① 令和7年度役員名簿

役 名	職 名	氏 名	備 考
会 長	宮崎県立図書館長	田代 暢明	
副 会 長	延岡市立図書館長	甲斐 保孝	
//	高原町中央公民館図書室長	西田 次良	
監 事	三股町立図書館長	米丸 麻貴生	
//	国富町立図書館長	桑畑 武美	
顧 問	宮崎県市長会長	池田 宜永	都城市長
//	宮崎県町村会長	佐藤 貢	日之影町長

② 令和6年度事業実績

〈会 議〉

期 日	会 場	議 題
5月27日	県立図書館	I 総会 1 令和5年度事業実績及び収支決算報告 2 令和6年度事業計画案及び収支予算案 3 令和6年度役員案 4 宮崎県公共図書館連絡協議会会則の改正案について II 令和6年度読書団体等及び公共図書館等職員表彰 III 事務連絡 IV 分科会（管理担当者部門・実務担当者部門）
3月10日	県立図書館	I 総会 1 令和6年度事業実績報告及び収支決算（見込み） 2 令和7年度事業計画（案）及び予算（案） 3 その他 4 事務連絡 II 意見交換

〈研 修〉 詳細・内容等は、47～48ページに記載。

〈県外研修派遣〉 ※ 派遣なし

〈図書館アドバイザー派遣〉 詳細・内容等は、28ページに記載。

③ 令和6年度総会表彰者名簿

〈読書普及優良団体・個人〉

読書団体名	代 表 者 名
おはなしくれよん（高千穂町）	須藤 幸代

〈優良職員〉

所 属	職名・氏名
元地域おこし協力隊（五ヶ瀬町）	山田 一誠

(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和 48 年 11 月 10 日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

① 事業実績

〈理事会・総会・研究発表会〉

令和 6 年 5 月 24 日（金） 会場：県立図書館研修ホール

・理事会

総会に向けての提案事項、秋季研究発表大会日南大会について協議を行った。また各地区での活動状況についての情報交換を行った。

令和 6 年 7 月 23 日（火） 会場：県立図書館研修ホールほか

・総 会

地区別協議会、第 2 回理事会および総会を実施した。第 2 回理事会では、秋季研究発表日南大会について協議を行った。総会では、提案事項について審議が行われ、秋季研究発表日南大会について事務局から提案と説明が行われた。

・研修会

宮崎県総合博物館 宮地輝和 氏により「伊東四十八城の実相」というテーマの講演を行った。

〈秋季研究発表大会〉日南大会（日南市飫肥）

令和 6 年 11 月 13 日（水）

会場：小村寿太郎記念館 大会議室

午前中に希望する団体で各自に現地視察を行った。午後から日南市教育委員会の 長友禎治 氏の研究発表「小村寿太郎と宮崎県」と、企画展「小村寿太郎とポーツマス条約」の見学を行った。

〈その他〉

- ・「地方史みやざき 第 69 号」の発行
- ・県立図書館HPに宮崎県地方史研究連絡協議会のページ開設



秋季研究発表日南大会の様子

② 役員及び加入団体（令和 7 年 4 月現在）

〈役 員〉 任期：令和 5 年 7 月～令和 7 年 7 月

会 長 甲斐 典明（延岡史談会）

副 会 長 石川 正樹（高鍋史友会）、神保 侃弘（日南郷土史会）、
加藤 建夫（小林史談会）

理 事 柏田 公和（日向市史談会）、森 さち子（木城史友会）
 田代 義博（南九州文化研究会）、稲泉 元司（えびの市史談会）
 佐藤 正信（個人会員）、有馬 晋作（個人会員）
 監 事 原口 勝（佐土原郷土史会）、河野 幸子（串間史談会）
 顧 問 橋本 孝則（前会長）
 事 務 局 宮崎県立図書館内

〈加入団体〉

（令和7年4月）

名 称	所 在	名 称	所 在
延岡史談会	延岡市	佐土原郷土史会	宮崎市
日向市史談会	日向市	えびの市史談会	えびの市
木城史友会	木城町	小林史談会	小林市
高鍋史友会	高鍋町	都城史談会	都城市
宮崎考古学会	宮崎市	南九州文化研究会	都城市
宮崎県総合博物館	宮崎市	日南郷土史会	日南市
宮崎県埋蔵文化財センター	宮崎市	串間史談会	串間市

○ 団体会員：14 団体 個人会員：6 名

【 参 考 資 料 】

1 沿 革

(1) 県立図書館の歩み

明治		点サービス方式に切り換えることにし当年度 22 町村が完了	
35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立 蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)		宮崎県史料刊行事業開始
大正		7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入
4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設		小中学生に対する館外貸出制度新設
5 年 1 月	新館開館 (第 2 代館)	11 月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催
昭和		49 年 1 月	購入雑誌を 146 種類 (従来 63 種類) に増加
24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築	3 月	蔵書目録第 4 巻 (芸術、語学、文学編) 刊行
25 年 4 月	宮崎県立図書館報「緑陰通信」創刊	49 年 4 月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係、資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立
26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足		古文書解読研究会 (館内職員) 発足
29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始		郷土文化講座 (4 講座) を開催
30 年 4 月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始		県内の読書推進に寄与することを目的に 10 冊文庫を設置
33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足		拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設
34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失	11 月	全国公共図書館整理部門研究集会 (27 日から 29 日 中小企業センターほか) を開催
36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む) で新館完成 鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)	50 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要の刊行開始 宮崎県史料の刊行開始
7 月	新館開館 (第 3 代館)	4 月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設 延岡・都城・小林の 3 地区で開催
37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設	51 年 1 月	郷土文化講座 (4 講座) に自然科学講座を追加
40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行	3 月	蔵書目録第 5 巻 (昭和 48 年度までの補遺) 刊行
41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始	52 年 4 月	重要貴重図書購入 5 ヶ年計画を立案、実施
42 年 5 月	複写サービス開始	10 月	蔵書目録第 6 巻 (昭和 49 年度増加目録) 刊行
43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始	53 年 3 月	蔵書目録第 7 巻 (昭和 50 年度・51 年度増加目録) 刊行
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始	54 年 4 月	N.D.C8 版・N.C.R 予備版に切換え
44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行	6 月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始
45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始 内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始	10 月	開架室の増設 (2 万冊を 2 万 4 千冊に)
46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行		
47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行		
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)		
48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行		
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠		

56 年 1 月 県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる

58 年 1 月 日曜日開館試行（3 月まで第 2、第 4 日曜日）

59 年 3 月 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県立図書館に関する提言を含めた報告書を知事に提出

4 月 日曜日開館開始

6 月 宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2 月まで委員会 11 回を開催）

60 年 1 月 宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）

4 月 新館建設準備委員会（3 月まで 5 回開催）及びコンピュータ導入委員会（3 月まで 13 回開催）設置

7 月 新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）
昭和 61 年 3 月 20 日設計完了

9 月 宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 500 万円寄贈（「岩切文庫」創設）

61 年 3 月 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）
杉田文庫目録（図書の部）刊行

10 月 新館建設工事着工

62 年 3 月 杉田文庫目録（遺墨類）刊行

12 月 新館完成、引渡

63 年 1 月 旧館閉鎖

2 月 新館へ移転開始（第 4 代館）

63 年 5 月 新館落成・開館記念式典及び記念行事
コンピュータ・システム稼働
安井息軒銅像除幕式
開館記念
「杉田文庫 稀覯資料展」開催
「杉田文庫 俳諧資料展」開催

7 月 図書館ボランティア養成講座開設

平成

元年 7 月 紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察

11 月 日本図書館協会百年史県内編集会議

2 年 1 月 新館の入館者 100 万人を突破

3 年 3 月 「嶺南日誌」1 巻の発行（3 巻で終刊）

4 年 10 月 宮崎県立図書館創立 90 周年記念「文化講演会」開催

5 年 3 月 宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定

7 月 宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称 Myline）
運用開始（当初 5 市町村加入）

宮崎県立図書館協力連絡車運行開始

6 年 3 月 「内藤充真院道中記」刊行

7 年 3 月 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行

10 月 宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやぎきの本 100 冊展」開催

12 月 「21 世紀の子どもたちに伝えるみやぎきの本 100 冊の本」刊行

8 年 3 月 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行

9 年 3 月 「佐土原藩譜」刊行開始

6 月 図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更

11 月 初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施

10 年 3 月 マイライン全市町村接続

6 月 「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年から 11 年）

10 月 図書館づくりフォーラム開催

11 年 3 月 宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして 30 万円寄贈（「平嶋文庫」創設）

12 年 4 月 インターネットホームページ開設

9 月 佐土原藩嶋津家江戸日記刊行開始

13 年 4 月 みどりに関する資料特別収集方針策定

14 年 10 月 図書館創立 100 周年記念事業を開催

11 月 創立 100 周年記念式典

15 年 3 月 「100 年のあゆみ」刊行

4 月 県内図書館横断検索システム導入（4 館）

15 年 7 月 国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画
パソコン 2 台でのインターネット閲覧サービス開始

16 年 4 月 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7 席）

6 月 「ビジネス情報コーナー」の開設

17 年 4 月 祝日開館試行開始

5 月 入館者 1,000 万人突破

6 月 閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設

10 月 図書館利用講座開始

18 年 7 月 宮崎県環境情報センターが館内（閲覧室）にオープン

19 年 12 月 「みやぎき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催

20 年 2 月 図書館サイン見直し
健康情報コーナー設置
「学校図書館運営のてびき」発行

11月 中村地平生誕 100 年記念講演会開催

21 年 1 月 宮崎県町村会主催 県立図書館共催により
「地域づくり・ひとづくりを考えるシンポジウム」開催

2 月 「子育て支援コーナー」の開設

22 年 4 月 県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結

6 月 口蹄疫拡大防止のため、6 月 12 日から 7 月 26 日の間、休館

8 月 第 34 回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察

10 月 新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力 4 万冊増）

23 年 3 月 貸出点数を 1 人 5 点から 10 点（児童図書室の資料は 5 点まで）に変更
県立図書館ブログ開始

24 年 1 月 ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催

3 月 話集・音声 CD「みやぎきの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行

5 月 書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5 月 21 日から 6 月 8 日まで）

12 月 宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10 年間 3,000 冊）
「かば先生文庫」を創設、贈呈式

25 年 2 月 児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備
宮崎県環境情報センターを 1 階閲覧室から 1 階ロビーに移転

4 月 歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任
置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催

27 年 4 月 日曜・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時に延長
県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始

28 年 3 月 移動図書館車「やまびこ」廃止（平成 28 年 6 月 7 日より「やまびこ文庫」に移行）

4 月 新マイラインサービス開始
図書館ブログを休止し県立図書館公式フェイスブックページを開設

28 年 5 月 県立図書館ビジョン懇談会発足

6 月 移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式
「やまびこ文庫」開始

11 月 県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」を教育長へ手交

29 年 6 月 若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈（全 878 冊）

10 月 対がん情報コーナー設置

12 月 「宮崎県立図書館ビジョン」策定
「かば先生文庫」寄贈 5 周年記念おはなし会開催

30 年 3 月 宮崎県立図書館ビジョン「第 1 期アクションプラン」策定

4 月 宮崎大学との連携協力に関する協定締結

10 月 「新館 30 周年記念 みどりの図書館フェスタ」開催
県立図書館書庫増設検討委員会設置

11 月 故小林邦雄氏の御遺族より若山牧水遺墨等寄贈

令和

元年 7 月 国立国会図書館歴史的音源サービス提供開始

2 年 3 月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 月 5 日から 3 月 26 日の間、臨時休館

4 月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4 月 21 日から 5 月 10 日の間、臨時休館

3 年 3 月 宮崎県立図書館ビジョン「第 2 期アクションプラン」策定

8 月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス提供開始

12 月 『読む』サポートコーナー設置

4 年 4 月 図書館創立 120 周年記念事業を各種開催（3 月まで）

9 月 塩月桃甫によるデザインをもとにした新貸出利用券を発行

11 月 BDS（ブックディティクションシステム）を非接触型に更新

5 年 2 月 宮崎県立図書館ビジョンを一部改定し、「第 3 期アクションプラン」を策定

7 月 図書館サポーターを設置

10 月 宮崎県立図書館名誉館長就任 10 周年記念講演会を開催

6 年 3 月 郷土の作家「中村地平」一試写会と館歌披露を開催

6 月 郵送での貸出利用券申請受付開始

7 月 地域若者サポートステーション図書館出張（就労支援相談）開始

9 月 電子書籍サービス「ひなた電子図書館」グランドオープン

7 年 1 月 オンラインでの貸出利用券申請受付開始

3 月 「デジタル宮崎県史」運用開始

(2) 歴代館長一覧

歴代	就任年月	転退年月	氏 名	備 考	歴代	就任年月	転退年月	氏 名	備 考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢 田 重 遠	学務課長 兼 視 学 兼 掌	31	昭和 57. 4	昭和 59. 3	比江島 重 俊	専 任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大 坪 學	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小 山 季 郎	"	33	平成 2. 4	" 4. 3	新 貝 晴 男	"
4	" 40. 2	" 42.12	石 神 徳 蔵	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久 徳 菊 雄	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市 川 覃	学務課長 兼 掌	35	" 5. 4	" 6. 3	村 岡 啓 吾	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿 夫	"	36	" 6. 4	" 8. 3	佐 野 芳 弘	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜 部 正 一	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒 木 康 博	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専 任	38	" 9. 4	" 11. 3	安 田 天 祥	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新 原 俊 秀	"	39	" 11. 4	" 13. 3	四 元 邦 和	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天 谷 虎之助	学務課長 兼 掌	40	" 13. 4	" 14. 3	島 内 清 成	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡 本 保 三	"	41	" 14. 4	" 15. 3	早 川 烈	"
12	" 12.12	" 14. 4	小 山 三 郎	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩 崎 武	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多 胡 全	社会教育 主事兼掌	43	" 15. 8	" 19. 3	伊 藤 惇 一	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古 城 林	学務課長 兼 掌	44	" 19. 4	" 21. 3	宮 永 博 美	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿 賀 正 美	"	45	" 21. 4	" 22. 3	一 原 則 幸	"
16	" 5.12	" 6.12	手 島 伝	"	46	" 22. 4	" 23. 3	矢 野 好 孝	"
17	" 6.12	" 7. 1	中 島 知 道	"	47	" 23. 4	" 24. 3	高 島 俊 一	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若 山 甲 蔵	専 任	48	" 24. 4	" 25. 3	甲 斐 睦 教	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐 山 修	専任嘱託	49	" 25. 4	" 26. 3	坂 本 義 広	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山 本 栄 喜	社会教育 課長兼掌	50	" 26. 4	" 27. 3	内 戸 保 博 秋	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大 山 俊 建	"	51	" 27. 4	" 29. 3	福 田 裕 幸	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日 高 重 孝	専 任	52	" 29. 4	" 31. 3	金 子 洋 士	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中 村 地 平	"	53	" 31. 4	令和 3. 3	中 原 光 晴	"
24	" 32.10	" 46. 3	日 高 一	"	54	令和 3. 4	" 4. 3	岩 本 真 一	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂 積 正 晴	教育次長 兼 掌	55	" 4. 4	" 5. 3	小 川 雅 彦	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹 内 敬 郎	"	56	" 5. 4	" 7. 3	平 山 文 春	"
27	" 47. 4	" 48. 3	杉 田 利 治	専 任	57	" 7. 4		田 代 暢 明	"
28	" 48. 4	" 51. 3	藺 田 穂	"					
29	" 51.4	" 53. 3	日 高 千 文	"					
30	" 53. 4	" 57. 3	三 宅 孝 明	"					

2 県立図書館条例・規則等

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)

(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則(昭和31年4月13日条例第21号抄)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和39年4月1日条例第36号抄)

この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則(昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則(昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第3号)

(最終改正 令和7年4月 教育委員会規則第5号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第3条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
- (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (10) 県立図書館協議会に関すること。
- (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (3) 視聴覚事業に関すること。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (5) 図書館資料の利用に関すること。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
館 長	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 館 長	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主 任 社 会 教 育 主 事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社 会 教 育 主 事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専 任 主 事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする複雑な事務に従事する。
専 任 技 師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする複雑な技術に従事する。
主 任 主 事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 任 技 師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技 師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
専 任 主 幹	上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専 任 副 主 幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
副 主 幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
専 任 主 査	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその専門的業務に従事する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

- 3 前2項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、専門主幹、専門主事及び専門技師を置く。
- 4 専門主幹は、上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
- 5 専門主事は、上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
- 6 専門技師は、上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

- 2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 閲覧室及び対面朗読室
午前9時から午後7時まで
- (2) 児童図書室、特別展示室、研修ホール、研修室及び視聴覚室
午前9時から午後5時まで
- 2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。
(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月4日まで(前号に掲げる日を除く。)
- (3) 特別整理期間(あらかじめ、館長が定めて公示する期間)
- 2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。
(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。
(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法(昭和45年法律第48号)第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

- 2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写(単色のもの)	複写1面につき	10円
電子複写(カラーのもの)	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
 - (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
 - (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不適当と認めた図書館資料
- (複写物の利用上の責任)

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。

(参考調査相談)

第19条 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。

(回答を行わない事項)

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不適当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。

(団体文庫及び巡回文庫)

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。

(視聴覚機器の館外利用)

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不適当と認めた図書館資料

(図書館資料等の館外利用の停止等)

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
 - (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
 - (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者
- 2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。
- 3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。
 - (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
 - (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
 - (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 - (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
 - (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
 - (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
 - (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

- 2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めは負わないものとする。

第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。
- 3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第4章 雑則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)
- 2 次に掲げる規則は、廃止する。
 - (1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）
 - (2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

附 則（平成2年4月17日教育委員会規則第8号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年8月25日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年3月31日教育委員会規則第10号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月29日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年5月22日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成9年6月1日から施行する。

附 則（平成13年3月30日教育委員会規則第9号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月29日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月30日教育委員会規則第12号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第3号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月31日教育委員会規則第6号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月21日教育委員会規則第1号）

この規則は、平成23年3月1日から施行する。

附 則（平成23年7月21日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成23年8月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日教育委員会規則第10号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月29日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月30日教育委員会規則第5号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日教育委員会規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和7年4月1日教育委員会規則第5号）

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

（3）県立図書館協議会運営規則

（昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号）

第1条 県立図書館協議会（以下「協議会」という。）に議長及び副議長各1人を置く。

2 議長及び副議長は、協議会委員（以下「委員」という。）の互選とし、その任期は委員の任期による。

3 議長は、委員の会議を主宰する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。

第2条 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。

2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。

第3条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

(4) 宮崎県立図書館資料収集方針

(平成18年8月1日 施行)
(最終改正 平成30年4月1日)

1 趣旨

この収集方針は、宮崎県立図書館（以下、「県立図書館」という。）の、図書館資料（以下、「資料」という。）の収集に関して、必要な事項を定めるものとする。

2 基本方針

県民への社会教育の推進、及び県民の生涯にわたる学習活動を支援するために、各分野における基本的な資料から専門的な資料まで幅広く収集し、特に下記事項について、重点的に取り組むものとする。

(1) 県立図書館としての役割による収集

県全域への均衡ある図書環境を充実させるために、市町村の図書館や図書室（以下、「市町村立図書館等」という。）と連携・協力を図り、それぞれの役割を踏まえた資料の収集に努めるものとする。

(2) 学校教育援助のための収集

社会教育と学校教育との連携のもと、学校教育における課題解決や児童生徒の学習活動を援助するために、必要とする資料の収集に努めるものとする。

(3) 郷土資料充実のための収集

本県の歴史、文化、行政など郷土に関する資料を次世代に引き継いでいくために、市町村立図書館等と連携・協力を図りながら、県内各地域に関わる資料の収集に努めるものとする。

(4) 子ども読書活動推進のための収集

家庭や地域、学校等と連携・協力を図りながら、読み聞かせや自主的な読書など子どもたちの読書活動を推進するために、全県的な取組に向けた適切な資料の収集に努めるものとする。

(5) 特色ある図書館づくりのための収集

本県のすばらしい自然環境の保護と、国土保全を担いかつ本県産業の基盤である農林水産業の発展に資するために、県民の理解や意識の高揚、啓発につながる特色ある資料の収集に努めるものとする。

(6) 地域や社会人支援のための収集

地域や社会人が、その時々々の社会情勢や様々な要因によって抱える課題の解決を支援するために関係機関との連携・協力を図りながら、関連する分野の総体的な資料収集に努めるものとする。

3 資料別収集基準

収集に当たっては、2の基本方針を踏まえ、次に掲げる資料ごとの基準により、予算の範囲内において効率的で適切な収集を行う。

(1) 一般資料

一般資料とは、次の(2)から(10)に掲げる以外の資料をいう。

ア 総記

(ア) 情報科学は、最新のものから解説書を中心に収集する。

(イ) 図書館、図書に関する資料は広く収集する。

イ 哲学・宗教

(ア) 哲学は、入門書や解説書などを中心に体系的に収集する。

(イ) 心理学、倫理学は、解説書、研究書を収集する。

(ウ) 宗教は、平易に書かれた解説書を中心に収集する。

ウ 歴史・地理

(ア) 歴史は、各時代における入門書、研究書、史料等を収集する。

(イ) 伝記は、著名人に関するものを広く収集する。

(ウ) 地理、地誌、紀行は、解説書を中心に収集する。

エ 社会科学

(ア) 今日的課題を踏まえて収集する。

(イ) 法令等の改正に伴う資料は、手引書や解説書を収集する。

(ウ) 統計資料等は、広く継続的に収集する。

(エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

オ 自然科学・医学

(ア) 自然科学は、幅広く収集する。

(イ) 天文学や地球科学及び生物科学は、積極的に収集する。

- (ウ) 医学・薬学は、各細目にわたり、入門書、解説書を中心に収集する。
- (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。
- カ 技術・家政学
 - (ア) 技術、工学は、最新の情報に留意して収集する。
 - (イ) 環境を取り扱った資料は、幅広く積極的に収集する。
 - (ウ) 家政学は、解説書を中心に収集する。
 - (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。
- キ 産業
 - (ア) 農林水産業に関する資料は、幅広く積極的に収集する。
 - (イ) 商業や観光は、地域支援に関するものを中心に収集する。
 - (ウ) 運輸、通信は、最新の情報に留意して収集する。
 - (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。
- ク 芸術・スポーツ・諸芸
 - (ア) 芸術は、解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
 - (イ) スポーツはルール改正に留意し、解説書、技術書等を収集する。
 - (ウ) 諸芸は、解説書、研究書を中心に収集する。
- ケ 言語
 - (ア) 言語学、辞典類は広く収集する。
 - (イ) 文章、会話、方言などは解説書を中心に収集する。
- コ 文学
 - (ア) 古典や研究書などを充実させる。
 - (イ) 主な文学賞受賞作品は収集する。
 - (ウ) 全集、作品集は広く収集する。
- (2) 参考資料

参考資料とは、特定の知識、情報について調べるための資料をいう。

 - ア 調査研究やレファレンスなどの業務に役立つ各分野の資料を収集する。
 - イ 学術的に評価のあるものを収集する。
 - ウ 各種統計報告書などのデータ資料、また国等の行政機関による刊行物は、積極的に収集する。
- (3) 児童資料

児童資料とは、乳幼児が見る赤ちゃん絵本から、中学生向きの読み物に至る子どもの資料をいう。

 - ア それぞれの年齢、発達段階に応じた資料を幅広く収集する。
 - イ 長く読み継がれるなど、評価の定まった資料は、もれなく収集する。
 - ウ 児童文学研究や読書活動推進に関する資料を収集する。
- (4) 青少年資料

青少年資料とは、主に10代を対象とした資料をいう。

 - ア 青少年の読書活動の推進を図るため、興味関心等も考慮し、感性和創造力を豊かにする資料を幅広く収集する。
 - イ 生活や学習の課題解決などに関する資料を収集する。
- (5) 郷土資料

郷土資料とは、郷土や郷土関係者などに関する資料をいう。

 - ア 宮崎県全域および歴史的、社会的に関係の深い地域の資料を、網羅的に収集する。
 - (ア) 郷土の事物や郷土にゆかりのある人について記載された資料
 - (イ) 本県および県内市町村または国その他公的機関が刊行、あるいは作成した資料
 - (ウ) 郷土で活動する個人や団体などが作成した資料
 - (エ) 古文書等史資料
 - (オ) 郷土にゆかりのある人が著した資料
 - イ 郷土資料として収集するものは、図書、古文書、絵図、地図、写真、逐次刊行物、パンフレット類、視聴覚資料等を対象とする。
- (6) 逐次刊行物

逐次刊行物とは、終期が予定されず、同一の標題のもと、巻号や年月などに表示され定期的（あるいは不定期）に刊行される資料をいう。

 - ア 雑誌
 - (ア) さまざまな分野における県民の学習支援のための雑誌
 - (イ) 九州各県で、分担保存の取り決めをしている雑誌
 - (ウ) 県内公共図書館等で、分担保存の取り決めをしている雑誌
 - イ 新聞
 - (ア) 主要な全国紙
 - (イ) 九州各県の主要な地方紙

(ウ) 業界紙、子ども紙、外国紙

(7) 視聴覚資料

視聴覚資料とは、図書館資料のうち、映像、音声など文字以外の表現方法で主に記録され、図書館法に定める視聴覚教育の資料をいう。

ア 県民の教育文化に向上に資する資料を収集する。

(ア) 視聴覚事業及び社会教育関係団体の活動、学校の教育活動に活用できる資料

(イ) 高く評価され感動的な資料

(ウ) 国内外で受賞した芸術性の高い資料

(8) 外国語資料

外国語資料とは、対象が主として外国人向けで、主に日本語以外で表現された資料をいう。

ア 外国人への情報提供の充実、および県民の外国理解に役立つ資料を収集する。

(ア) 日本の歴史、文化等に関する資料、日本文学の翻訳資料

(イ) 外国の歴史、文化、文学等に関する資料

(ウ) 外国人が、日本での生活に必要とする情報を提供できる資料

(9) 電子資料

オンラインデータベースなどの電子資料は、他の資料との情報の補完性を考慮して収集する。

(10) その他

幅広い利用者への資料の提供及び資料の適切な保存や活用を図るため、次の仕様による資料も適宜収集する。

ア 大活字本、音声資料

イ マイクロフィルム資料

ウ 新聞、雑誌などの製本資料

4 資料収集の体制

(1) 図書、逐次刊行物及び視聴覚資料など資料収集の検討を行うため、宮崎県立図書館図書選定連絡会（以下「連絡会」という。）を置く。

(2) 連絡会の設置及び運営については、別途要領を定める。

附 則

この方針は、平成18年8月1日から施行する。従前の「宮崎県立図書館資料収集方針」（平成9年4月1日施行）は廃止する。

一部改正 平成28年4月1日

一部改正 平成30年4月1日

(5) ひなた電子図書館サービスにおける電子書籍選書方針

(令和6年5月21日 施行)

(目的)

第1条 この方針は、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、ひなた電子図書館サービスにおける電子書籍（以下「ひなデジ電子書籍」という。）の選書について、必要な事項を定めることを目的とする。

(選書の基本的方針)

第2条 ひなデジ電子書籍の選書の基本方針は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 選書対象は、アクセス権が無期限の資料を基本とするが、県内の市町村立図書館における電子書籍の導入状況や役割分担を考慮した上で、アクセス権に期限及び回数制限のある資料も含むものとする。

(2) 幅広い県民のニーズに対応するため、次条各号に掲げる資料からバランスよく選書するものとする。特に、次条第3号から第5号の資料については、積極的に選書することとする。

(資料別選書方針)

第3条 資料別の選書方針は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 調査・研究及びレファレンスに有用な資料

県民の生活や仕事に役立ち、調査研究を行うために必要な辞書、事典、便覧、統計、年鑑等、課題解決の支援に必要な資料を選書する。

(2) 県民のニーズを満たし、生活を豊かにするための資料

県内の市町村立図書館における電子書籍の導入状況や役割分担を考慮した上で、子育て、趣味、健康など幅広い分野の一般書を選書する。

(3) 読書バリアフリーに対応した資料

ア 音声読み上げ機能、文字の拡大や背景色の変更が可能な資料など、障がい者や高齢者に配慮した資料を

選書する。

イ 病気や子育て、介護などにより来館が困難な利用者のニーズに合った資料を選書する。

(4) 郷土の歴史などを次世代に引き継いでいくための資料

ア 宮崎県の歴史、風土、政治、社会、文化等に関する郷土資料を選書する。

イ 宮崎県にゆかりのある人の著作、各種関係資料などを選書する。

(5) 子どもの読書活動や調べ学習に活用できる資料

ア 子どもの発達段階、興味・関心に応じた絵本や児童文学などを選書する。

イ 小・中・高等学校、特別支援学校等の授業に活用できる資料、学校図書館を支援する資料を選書する。

(選書における留意事項)

第4条 ひなデジ電子書籍の選書に当たっての留意事項は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 客観的に公正な立場で選書する。

(2) 禁帯出本など紙媒体の図書との補完を考慮し、電子書籍の特徴を生かした資料を選書する。

(3) 常に新鮮で、利用者の期待に応え得る資料を充実させるため、継続的に選書する。

(4) 利用の傾向や利用者からの推薦も参考にして選書する。

(5) 県内の市町村立図書館における電子書籍の導入状況を注視し、必要に応じて選書方針の見直しを行う。

(導入資料の決定)

第5条 導入する資料は、宮崎県立図書館長が決定する。なお、決定に当たっては、選書委員会の意見を聴くものとする。

(協議)

第6条 この方針に定めるもののほか、特別に考慮する事情が生じた場合は、その都度協議する。

附 則

この方針は、令和6年5月21日から施行する。

(6) 宮崎県立図書館「みどりに関する資料」特別収集要領

1 目的

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやぎきのイメージにあった「みどりに関する資料」を特別収集する。

2 収集方針

(1) 特別収集する資料は、「みどりに関する資料」とし、内容は下記のとおりとする。

- ・「自然に関する資料」
- ・「環境に関する資料」
- ・「緑の文学に関する資料」

(2) 県民が自然や緑のすばらしさと大切さを知り、これらに親しむことができる資料を収集する。

(3) 県民の環境教育・環境学習の推進に役立ち、環境保全に対する意識の高揚と啓発につながる資料を収集する。

3 「みどりに関する資料」収集内容

「自然に関する資料」

- ・森林 ・植物 ・動物 ・海洋 ・自然公園 ・天然記念物
- ・河川 ・湖沼 ・農業 ・園芸 ・ビオトープ ・アウトドア
- ・グリーンツーリズム ・林業 ・国土保全等

「環境に関する資料」

- ・地球環境問題（地球温暖化 熱帯雨林の減少 オゾン層の破壊 酸性雨等）
- ・エコロジー ・リサイクル ・エコライフ ・大気汚染
- ・廃棄物 ・河川汚濁
- ・河川浄化 ・海洋汚染 ・エネルギー等

「緑の文学に関する資料」

- ・自然や環境をテーマとした文学等（ネイチャーライティング 緑の文学批評等）

(7) 資料の除籍に関する要項

(昭和63年4月1日 施行)
(最終改正 平成30年4月1日)

1 目的

この要項は、宮崎県立図書館が所蔵する資料の適正な管理を行うため、資料の除籍についてその必要な事項を定めるものとする。

2 除籍の種類

除籍は、その原因となる事由により、下記の(1)～(7)のように区分する。

(1) 不用

- ① 資料が資料的価値を失い、保存の必要がないと認められた場合。
- ② 複本が必要以上にある場合。
- ③ BM資料で10年を経過したもの。ただし、このうち資料的価値のあるものは本館へ配架替えを行う。
- ④ 逐次刊行物については、別に定めるところによる。

(2) 亡失

- ① 貸出をうけた利用者が、資料を紛失した場合。
- ② 不慮の事故・災害・その他の事由により資料が亡失したと認められる場合。
- ③ 住所不明等により、返却期限から3年を越えて返却されない場合。
- ④ 蔵書点検で、2回連続不明となった場合。

(3) 汚損・破損

- ① 資料の全部あるいは一部が汚れて、文字や絵が判読できない場合。
- ② 資料が破損し、修理不能と判断した場合。

(4) 所管換え

資料を他の所属長に管理替えを行う場合。

(5) 数量更生

受入済の資料を合冊または分冊して数量変更する場合。

(6) 寄託返還

寄託で受け入れた資料を返還した場合。

(7) その他の除籍

その他除籍することが適当と館長が認める場合。

3 除籍の決定

- (1) 資料を除籍しようとするときは、除籍処分調書(様式第7号)に必要事項を記入の上、決裁を受けなければならない。
- (2) 利用者が貸出中に亡失または損傷した場合は、図書館資料亡失・損傷届(宮崎県立図書館閲覧室等利用規程様式第13号)を除籍処分調書に添付する。

4 決裁後の処理

除籍が決定したときは、次の各号に定める処理を行う。

- ① 電算システム上での除籍処理。除籍区分・除籍月日・資料番号等の入力。
- ② 不用で除籍した資料については、資料の標題紙の裏面に除籍印を朱色で押印する。
- ③ 不用で除籍した資料で、市町村立図書館等へ寄贈してもよいものがあれば、各図書館等へ紹介する。

附 則

この要項は昭和63年4月1日から施行する。

一部改正 平成12年 3月 3日
一部改正 平成29年 1月26日
一部改正 平成30年 4月 1日

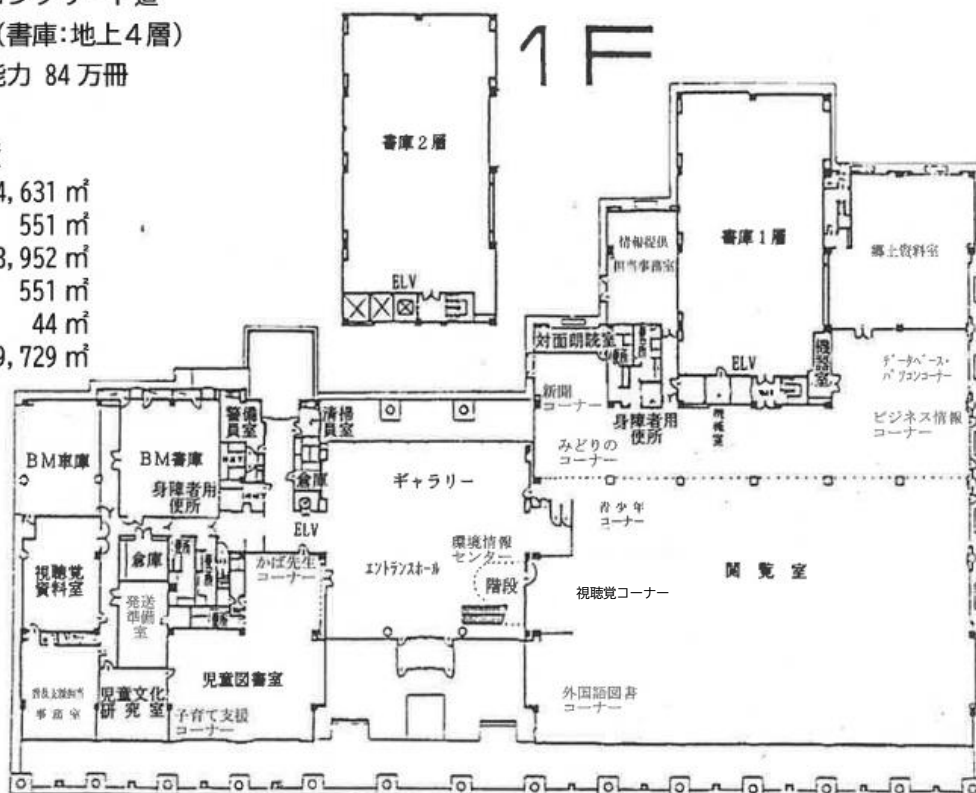
3 施設概況

(1) 構造

鉄筋鉄骨コンクリート造
地上2階（書庫：地上4層）
図書収蔵能力 84 万冊

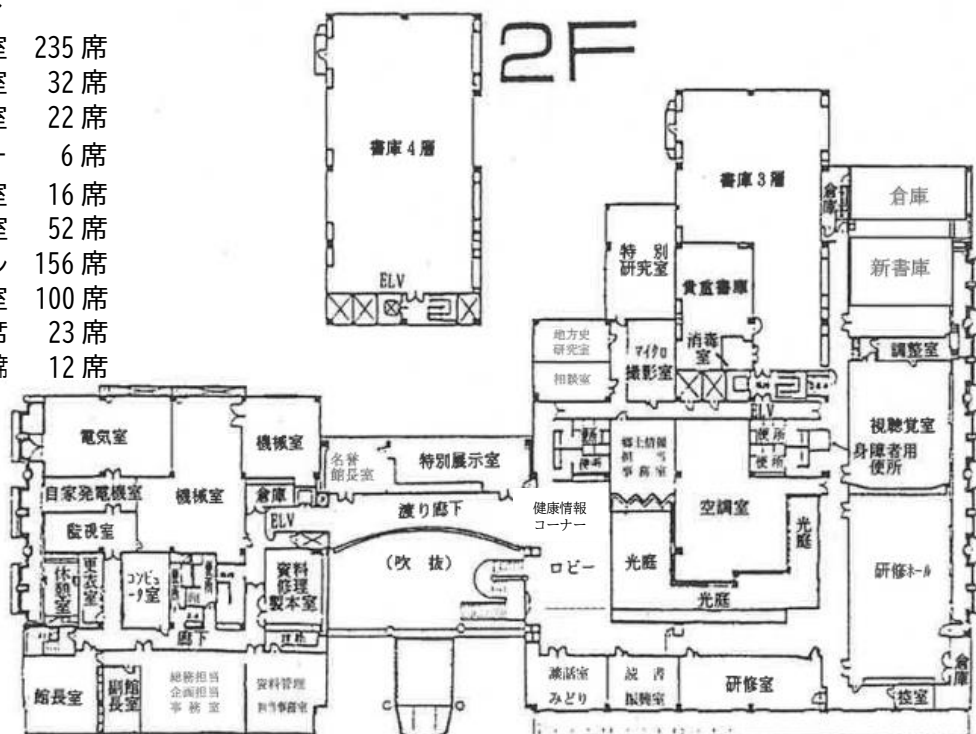
(2) 床面積

1 階 4,631 m²
551 m²
2 階 3,952 m²
551 m²
屋 階 44 m²
合 計 9,729 m²



(3) 座席数

一般閲覧室 235 席
郷土資料室 32 席
児童図書室 22 席
視聴覚コーナー 6 席
読書振興室 16 席
研修室 52 席
研修ホール 156 席
視聴覚室 100 席
パソコン席 23 席
新聞コーナー席 12 席



4 令和6年度施設の維持管理

(1) 案内表示立看板修繕

開館・閉館時刻と休館日を表示する看板を更新した。

(2) 消防設備修繕

消火器の交換、書庫の自動火災報知設備と誘導灯の不良箇所の修繕を行った。

(3) 外床洗淨

エントランスホール正面入口左右の外床の高圧洗淨を行った。

(4) 空調機修繕

書庫3層貴重書庫の空調機冷媒配管を更新した。

(5) 水道管漏水修繕

受水槽1次側付近給水管（地下埋設）が損傷し漏水が発生していたので、損傷部分の給水管を地上接続で交換した。



給水管にステンレス製のカバーを装着

(6) 空調設備修繕

大型吸収冷温水機の燃焼系消耗部品を交換した。（2012年更新設置以来初の交換）

(7) 照明改修工事

1階ギャラリーと児童室のLED化を行った。

(8) 受変電設備他改修工事

2階電気室の受変電設備と非常用発電設備を更新した。（1987年設置以来初の更新）



受変電設備



非常用発電設備

5 利用案内

(1) 開館・休館

① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

② 休館日

月曜日（月曜日が休日の場合はその日以後で最も近い平日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（9月17日～9月19日、令和8年2月17日～令和8年3月1日）

(2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

(3) 電話

0985-29-2911	全般的な問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・	総務・企画課総務担当
0985-29-2911	各種図書館事業の企画・広報・・・・・・・・	総務・企画課企画担当
0985-29-2970	資料の寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・	総務・企画課資料管理担当
0985-29-2956	やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業・・・・・・・・	情報提供課普及支援担当
0985-29-2954	郷土情報に関する問合せ・・・・・・・・	情報提供課郷土情報担当
0985-29-2596	図書の貸出・返却・・・・・・・・	情報提供課情報提供担当
0985-29-2972	資料に関する問合せ・・・・・・・・	情報提供課情報提供担当

(4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当・資料管理担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（郷土情報担当・情報提供担当）

(5) 電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp（代表）

soudan@lib.pref.miyazaki.lg.jp（レファレンス）

(6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

(7) SNS

フェイスブック <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

インスタグラム https://www.instagram.com/miyazaki_pref_lib/

6 市町村立図書館一覧

図書館名	館長名	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX 番号
宮崎市立図書館	有水 勇一郎	880-0930	宮崎市花山手東3丁目25番地3	0985-52-7100	0985-52-7158
宮崎市立佐土原図書館	駒山 学	880-0211	宮崎市佐土原町下田島20527番地4	0985-30-1037	0985-72-2066
都城市立図書館	井上 康志	885-0071	都城市中町16街区15号	0986-22-0239	0986-22-0251
都城市立高城図書館(分館)	〃	885-1202	都城市高城町穂満坊105番地	0986-58-4224	0986-58-4245
延岡市立図書館	甲斐 保孝	882-0812	延岡市本小路39番地1	0982-32-3058	0982-22-0644
延岡市立図書館北方分館	池田 元洋 (兼)北方分館長	882-0125	延岡市北方町川水流卯1236番地2	0982-28-5200	0982-28-5201
延岡市立図書館北浦分館	柴 由美子 (兼)北浦分館長	889-0301	延岡市北浦町古江1943番地1	0982-45-2466	0982-45-2466
延岡市立図書館北川分館	岡田 健一 (兼)北川分館長	889-0192	延岡市北川町川内名7250番地	0982-46-2047	0982-46-2065
日南市立図書館	重永 康彦 (兼)生涯学習課長	889-2535	日南市飢肥2丁目6番18号	0987-25-0158	0987-25-1200
日南市立まなびピア図書館	〃	887-0013	日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内	0987-22-5666	-----
日南市立北郷図書館	〃	889-2402	日南市北郷町郷之原乙1570番地	0987-55-2469	0987-55-2469
日南市立南郷図書館	〃	889-3204	日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内	0987-64-0924	-----
小林市立図書館	田鍋 友皇	886-0004	小林市細野367番地1	0984-22-7913	0984-22-4333
小林市立図書館野尻分館	〃	886-0212	小林市野尻町東麓1183番地2	0984-44-1100	-----
小林市立図書館須木分館	〃	886-0111	小林市須木中原1741番地1	0984-48-2954	-----
日向市立図書館	海野 由紀	883-0035	日向市春原町1丁目47番地	0982-54-1919	0982-54-5444
串間市立図書館	黒木 さやか	888-0001	串間市大字西方6524番地58	0987-72-1177	0987-72-0803
西都市立図書館	児玉 嘉久 (兼)社会教育課長	881-0003	西都市大字右松2606番地1	0983-43-0584	0983-41-1113
えびの市民図書館	谷川 みく	889-4311	えびの市大字大明司2146番地2	0984-35-0242	0984-35-3040
三股町立図書館	米丸 麻貴生 (兼)教育長	889-1901	北諸県郡三股町大字樺山3406番地8	0986-51-3200	0986-51-3751
国富町立図書館	桑畑武美 (兼)社会教育課長	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄4768番地2	0985-75-9577	0985-75-9558
綾てるは図書館	玉田 清人	880-1302	東諸県郡綾町大字北俣462番地2	0985-77-0180	0985-77-0585
町立高鍋図書館	長尾 広則	884-0003	児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地	0983-21-1152	0983-21-1153
新富町図書館	福重 和泉 (兼)生涯学習課長	889-1403	児湯郡新富町大字上富田6345番地5 新富町総合交流センター「きらり」内	0983-32-7878	0983-33-5928
川南町立図書館	巻 庄次郎	889-1302	児湯郡川南町大字平田2386番地3	0983-27-7111	0983-27-7100
都農町民図書館	黒木 和秀 (兼)教育課長	889-1201	児湯郡都農町大字川北5448番地2	0983-25-3316	0983-25-2683
門川町立図書館	椿原 悟 (兼)教育課長	889-0611	東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1	0982-68-0001	0982-68-0024
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	883-1101	東臼杵郡美郷町西郷田代1870番地	0982-62-6204	0982-66-2131
美郷町立北郷図書館	〃	889-0901	東臼杵郡美郷町北郷宇納間401番地	0982-62-6205	0982-62-6193
美郷町立南郷図書館	〃	883-0306	東臼杵郡美郷町南郷神門287番地	0982-59-1605	0982-59-1119
椎葉村図書館「ぶん文Bun」	黒木 保隆 (村長)	883-1601	東臼杵郡椎葉村大字下福良1829番地70	0982-67-2177	-----
高千穂町立図書館	戸敷 二郎 (兼)教育長	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井723番地1	0982-72-7219	0982-72-5515
日之影町立図書館	橋本 範憲 (兼)教育長	882-0401	西臼杵郡日之影町大字七折9079番地	0982-87-3809	0982-87-3816
※令和7年4月1日現在。					

宮崎県立図書館

所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

電話

総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

資料管理担当 0985-29-2970

情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

ファクシミリ

総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

資料管理担当 0985-29-2491

情報提供課

普及支援担当 0985-29-2961

郷土情報担当 0985-22-9070

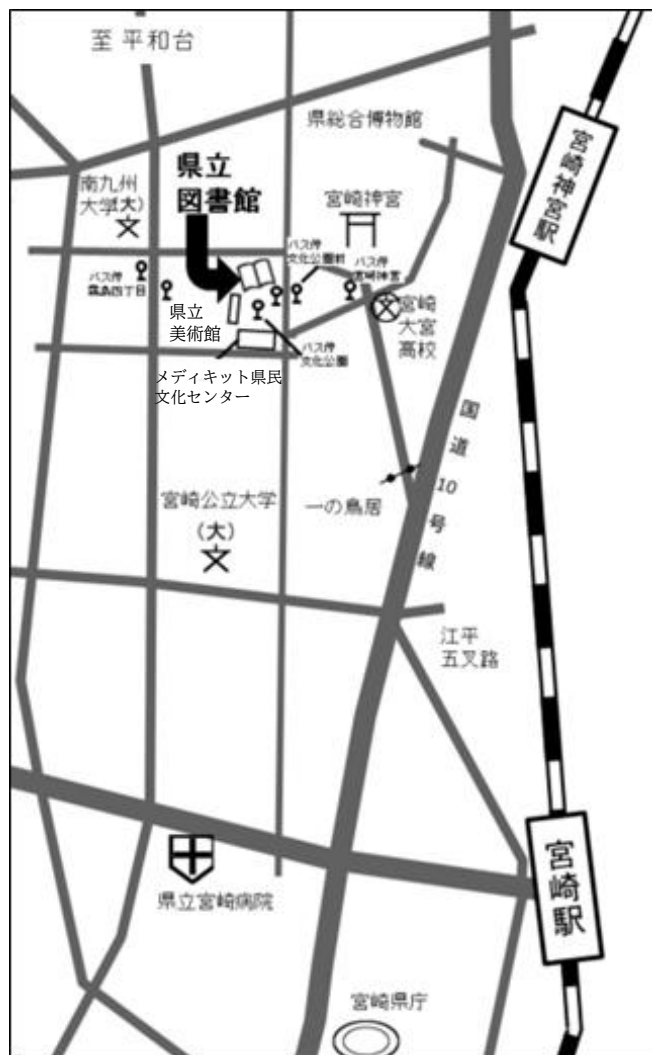
情報提供担当 0985-22-9070

電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp (代表)

ホームページアドレス

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



令和7年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月

編集・発行

令和7年7月

宮崎県立図書館